はじめに

応用講座で勉強を始める小学校五年生のみなさま

これから勉強を始めるにあたって、大切なことをまとめておきました。

大事なのは、「今どれぐらいできているか」ではなく、これから勉強をはじめて「どれぐらい理解できるようになるか」です。今より一歩でも前に進めるよう一緒にがんばっていきましょうね。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

勉強方法

文章問題

①読む
——まず文章を読みましょう。

→②線を引く
——大切だと思うところにチェックをしましょう。

→③問題を解く
——文章の後についてある問題を解きましょう。

→④文章の解説動画を見る
——わからないところがあれば、ノートをとっておきましょう。

※③と④は入れかわってもかまいません。

→⑤問題の解説動画を見る
——丸つけをしながら、まちがったところを理解しましょう。

（授業動画は《文章（本文）の解説 → 問題の解説》の順で展開されているので、①②の段階で難しく思うのであれば、まず④の解説を見てから問題を解いてください。その後、問題を解いてみましょう。）

→⑥復習
——文章を音読し、意味のわからないところがないか確認。
——また、まちがった問題、正解していたけれどよくわかっていなかった問題をもどって確認しましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

知識問題

①知識の解説動画を見る

——問題を解く前に必ずチャプターーの解説を見てください。

——まちがった考え方で解いてしまうと、まちがった考え方のクセがついてしまうので、その前に動画で正しい考え方を理解してから解きましょう。

←

②問題を解く

——考え方を身につけた後に、問題を解いてみましょう。

←

③問題の解説動画を見る

——丸つけをしながら、まちがった問題の考え方を理解していきましょう。

←

---

④復習

——まちがった問題をしっかり見直し、やり直しましょう。自分の考え方がまちがっていないか確認したり、覚えないと解けないところは暗記したりしてください。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　文学的文章①　……　p.5
第二講　文学的文章②　……　p.11
第三講　説明的文章①　……　p.17
第四講　説明的文章②　……　p.24
第五講　文学的文章③　……　p.32
第六講　文学的文章④　……　p.39
第七講　説明的文章③　……　p.47
第八講　説明的文章④　……　p.52
第九講　文学的文章⑤　……　p.60
第十講　文学的文章⑥　……　p.66
第十一講　説明的文章⑤　……　p.75
第十二講　説明的文章⑥　……　p.80
第十三講　文学的文章⑦　……　p.89
第十四講　文学的文章⑧　……　p.95
第十五講　説明的文章⑦　……　p.103
第十六講　説明的文章⑧　……　p.109
第十七講　詩　……　p.119
第十八講　短歌・俳句　……　p.129
第十九講　敬語　……　p.136
第二十講　品詞　……　p.143
第二十一講　ことば　……　p.148

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講・文学的文章①

◆情景をとらえる

物語では、さまざまなできごとが起こりながら、話が進みます。そのできごとの一つ一つのまとまりを「場面」といいます。また、場面中において、景色や様子に登場人物の心情が表れていることがあります。それを「情景」といいます。

(1) **ときをとらえる。**

「朝」「夏」など、時間や季節を直接に表した表現だけでなく、「ねる」「まっくら」（夜であることがわかる）など、ときがわかることばにも注意してとらえましょう。

(2) **場所をとらえる。**

「ときをとらえる」ときと同じように、場所を直接に表した表現だけでなく、風景や登場人物の会話や行動、様子にも注意してとらえましょう。

---

(3) **できごとをとらえる。**

状況を説明した文や登場人物の行動などから、どんなできごとについてえがかれた場面であるかをとらえましょう。

(4) **風景がくわしくえがかれているところをとらえる。**

くわしい情景描写がされているところに注目して、場面の様子をとらえましょう。

(5) **登場人物の心情が表れた風景や様子をとらえる。**

風景や様子と登場人物の心情とのつながりをとらえましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「僕、①お金持って遊びに行くのん、初めてや」

ときどき立ち停まると、喜一はそのたびに掌を開いて、＊１晋平からもらった②硬貨の数を確かめた。信雄は自分の金をそっくり喜一の掌に移した。

「僕のんと合わしたら、何でも買えるで」

「そやなあ、あれ買えるかも知れへんなあ」

信雄も喜一も、火薬を詰めて飛ばすロケットのおもちゃが欲しかったのである。恵比須神社の縁日でも売っていたから、きっと今夜も売っている筈であった。

天満宮のような巨大な祭りではなかったが、それでも商店街のはずれから境内への道まで露店がひしめきあっている。人通りも多くなり、スルメを焼く匂いと、露店の茣蓙の上で白い光を発している＊２カーバイドの悪臭が、暗くなり始めた道にたちこめて、信雄も喜一もだんだん祭り気分にうかれていった。

（宮本輝『泥の河』）

＊１晋平＝信雄の父親。
＊２カーバイド＝炭化カルシウム。発生するガスで明かりにする。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「お金持って遊びに行く」とありますが、①どこに、②何を買いたくてお金を持って遊びに行くのですか。また、③ふたりはそこに行ってどんな気持ちになったのですか。

①

②

③

問二　この文章の場面の時刻（じこく）はいつごろですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　朝　**イ**　昼　**ウ**　夕方　**エ**　夜

問三　――線②「硬貨の数を確かめた」とありますが、それはなぜですか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

まあ落ちついてききたまえ。前にはなしたあの象を、オツベルはすこしひどくし過(す)ぎた。しかたがだんだんひどくなったから、象がなかなか笑わなくなった。時には赤い竜(りゅう)の眼(め)をして、じっとこんなにオツベルを見おろすようになってきた。

ある晩(ばん)象は象小屋で、三把(わ)の藁(わら)をたべながら、十日の月を仰(あお)ぎ見て、

「苦しいです。*1サンタマリア。」と云(い)ったということだ。

こいつを聞いたオツベルは、①ことごと象につらくした。

ある晩、象は象小屋で、ふらふら倒(たお)れて地べたに座(すわ)り、藁も食べずに、十一日の月を見て、

「もう、さようなら、サンタマリア。」と斯(こ)う云った。

「おや、何だって？　さよならだ？」②月が俄(にわ)かに象に訊(き)く。

「ええ、さよならです。サンタマリア。」

「何だい、なりばかり大きくて、からっきし意気地(いくじ)のないやつだなあ。仲間(なかま)へ手紙を書いたらいいや。」

月がわらって斯う云った。

「お筆も紙もありませんよう。」象は細ういきれいな声で、しくしくしくしく泣き出した。

「そら、これでしょう。」すぐ眼の前で、可愛(かあい)い子どもの声がした。象が頭を上げて見ると、赤い着物の童子が立って、硯(すずり)と紙を捧(ささ)げていた。象は早速(さっそく)手紙を書いた。

③「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出て来て助けてくれ。」

童子はすぐに手紙をもって、林の方へあるいて行った。

赤衣(せきい)の童子が、そうして山に着いたのは、ちょうどひるめしごろだった。このとき山の象どもは、*2沙羅樹(さらじゅ)の下のくらがりで、碁(ご)などをやっていたのだが、額(ひたい)をあつめてこれを見た。

「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出てき

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

て助けてくれ。」

象は一せいに立ちあがり、まっ黒になって吠(ほ)えだした。

（宮沢賢治(みやざわけんじ)『オツベルと象』）

＊１サンタマリア＝聖母(せいぼ)マリア。イエス・キリストの母マリア。

＊２沙羅樹＝インド原産の木の名前。釈迦(しゃか)に関係の深い木。

問一　――線①「ことごと象につらくした」とありますが、①オツベルが「象につらくした」のはなぜですか。また、②その結果、象はどうなりましたか。

①

②

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「月が俄かに象に訊く」とありますが、①象の言葉を聞いた月はどう思いましたか。また、②月は象に何をしてくれましたか。

①

②

問三　――線③「ぼくはずいぶん眼にあっている。みんなで出て来て助けてくれ」とありますが、これは、①だれが、②だれによって、ずいぶんな眼にあっているのですか。また、③「みんな」とはだれのことですか。それぞれ答えなさい。

①

②

③

問四　この文章の場面を二つに分けるとどこで分かれますか。後半の初めの五字を文中から書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　●　文学的文章②

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ことしも、いつのまにか、百羽(ぱ)ちかくのツルが、やってきて、空の帆(ほ)かけ船のように、朝やけの大空を群(む)れとんだり、クルクル、クワアとラッパのような声をひびかせたりしはじめました。

太郎(たろう)と二郎(じろう)は、そのツルたちを観察するためにつくった、わら小屋の中にもぐりこみました。

小屋といっても、わら小積(こづ)みに、にせてつくった小さいもので、ふたりで、その中にはいりこむと、からだを動かすのも、きゅうくつなほどのものでありました。

小屋の前とうしろに、しょうじの一こまほどのあなを二つずつあけておきました。

①それが、ふたりでツルたちの動作をのぞき見するまどなのです。

小屋の中にはいると、わらの新しいにおいが、ぷんぷんしました。はじめての経験(けいけん)をするということは②むねがわくわくするものです。

それに、この小屋は太郎と二郎とのふたりでくふうしてつくったものであるので③いっそうふたりの心をはずませました。

ふたりの兄弟は、小屋の中にあつくしきつめた、わらすべの上にすわると、たがいにかたをくんで、顔を見あわせて、にっこりとわらいました。

そして、出がけに、ニワトリ小屋からもってきた、生みたてのたまごを、一つずつポケットから出すと、糸切り歯で、両はしに、チョンチョンとあなをあけ、顔をあおむけて、イタチのように、チューチューとなまたまごをすすりました。

④戦闘準備(せんとうじゅんび)であります。

（椋鳩十(むくはとじゅう)『ツル帰る』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「それ」とは、⑴どのようなもので、⑵何をするためのものですか。

⑴

⑵

問二　――線②「むねがわくわくするもの」とありますが、なぜ「わくわく」するのですか。

問三　――線③「いっそうふたりの心をはずませた理由として最も良いものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　ツルがクルクルと鳴くのがおもしろかったから。
イ　ふたりで作った小屋で、初めてツルを観察するから。
ウ　太郎と二郎のふたりで初めて遊びにきたから。
エ　わらの新しいにおいが心地よかったから。

問四　――線④「戦闘準備」として、ふたりは何をしましたか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　顔を見あわせてわらった。
イ　ツルを観察した。
ウ　なまたまごをすすった。
エ　かたをくんだ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

——気圧(きあつ)のせいで、耳がへんなんだ……。

　サトルはつばを飲みこんだり、鼻をつまんで息をむりやり吹(ふ)きだしてみたりする。プールに深くもぐって耳がへんになったときにも、おなじようにした。

　ガサッと音がして、まわりの音がちゃんときこえるようになった。エンジンがゴーゴーとうなっている。うるさいけれど、耳につまっていたものがとれたみたいで、気持ちがいい。

「雲の層(そう)からでると、窓(まど)のそとに真っ暗な空がひろがった。機体が、すこしななめにかたむきながら、すべるようにおりていく。銀色のフラップ*が、めくれるように上にあがった。

　宇宙(うちゅう)へとつながる夜空の下に、光のじゅうたんをひろげたような街の明かりが見えてきた。

オレンジ色の光の線と、星のような緑色の光の点(てん)滅(めつ)。そのあいだをぬって動く赤い光の帯は、道を走る車たちのテールランプだろうか。

——なんて大きな街なんだ。まるでＳＦ(エスエフ)映画(えいが)の未来都市みたいだ……。

　サトルは①口を半開きにしたまま、目をうばわれている。②光のじゅうたんの、はしからはしまでが見わたせない。真っ暗な空の下ぜんぶがキラキラ光っている。飛行機はつばさをしならせて、星雲の中心にすいこまれるようにして高度を下げていく。

　サトルは、さっきまでサッカーのゲーム機をピコピコやっていたが、いまは、その小さなボタンを押(お)すこともわすれて、目の下のまぶしい世界をのぞきこんでいる。

　③光の海がぐんぐん近づいてくる。明かりのついたたくさんの窓がならんだビルや、高速道路が自分の目の高さとおなじになり、オレンジや緑の光が線になって、うしろに飛んでいく。

　体がうくような感じがして、ドンッとおしりが下からつきあげられた。着陸すると、四つのエンジン

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

がものすごい音をだして逆噴射した。飛行機のスピードが見るまにおそくなる。窓のそとのけしきが、ゆっくりと流れていく。

飛行機はまだ滑走路の上をすべっているのに、となりの席のお父さんは、もうシートベルトをはずしてしまった。ほかの人たちはまだじっとすわっているのに、お父さんだけがそわそわして落ちつきがない。

飛行機に乗っているあいだじゅう、④ずっとそうだった。分厚い書類のたばをめくったり、ノートパソコンのキーをカチャカチャたたいたりして、ともかくじっとしていなかった。

サトルは、なにもしないでぼーっとしているお父さんを見たことがない。だまって遠くを見ていたり、目を閉じてなにかを考えているようなお父さんを見たことがない。いつもなにかしていて、いつもいそいでいる。いつも「いそがしい、いそがしい。」といい、そして、ときどき「つかれた。」とため息をつく。だからサトルは、そんなお父さんとちゃんと話をしたことがない。

――だれのお父さんも、みんなおなじようにいそがしいのだろうか。それとも、ぼくのお父さんはとくべつなのだろうか……。

サトルは、ときどきそんなことを考える。

（戸井十月「カチーナの石」）

＊フラップ＝飛行機の主翼に付いている小翼。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　ここでは、どんな場面が中心に描（えが）かれていますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　サトルの乗った飛行機が飛び立とうとする場面

イ　サトルの乗った飛行機が降下し着陸しようとする場面

ウ　飛んでいく飛行機をサトルが見ている場面

エ　サトルがＳＦ映画を見ている場面

問二　――線①「口を半開きにしたまま、目をうばわれている」サトルの様子を表すことばとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　失望　**イ**　不安

ウ　無関心　**エ**　夢中（むちゅう）

問三　――線②「光のじゅうたん」、③「光の海」は、ともに何をたとえた表現ですか。文中から五字で書きぬきなさい。

問四　――線④「ずっとそうだった」とありますが、どんな様子だったのですか。文中から七字で書きぬきなさい。

問五　『よりあとの部分を、サトルの意識の向いている対象に着目して二つに分けるとすると、後半はどこからですか。その初めの五字を文中から書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　**問五**で分けた前半と後半の場面について、次の問題に答えなさい。

①　前半の場面では、サトルの意識は何に向けられていますか。文中から五字以内で書きぬきなさい。

②　後半の場面では、サトルの意識は何に向けられていますか。文中から五字以内で書きぬきなさい。

③　②で答えた対象に対するサトルの気持ちを、五字以内で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講・説明的文章①

◆段落（だんらく）の要旨（ようし）

文章を組み立てている一つ一つの内容のまとまりを「段落」といいます。段落には、次の二つがあります。

形式段落　一字下げて行がえになっているひとまとまり

意味段落　いくつかの形式段落が集まった大きな意味のまとまり

説明文を読むうえでは、各段落で筆者が言おうとしていることの中心をとらえることが大切です。

(1) **段落の話題をとらえる。**

まずは、その段落がどんなことについて述べ（の）たものかをとらえます。話題は、問いかけの形で示（しめ）されることがよくあります。

(2) **段落の要点をとらえる。**

段落の要点をとらえるには、「内容をまとめた文（キーセンテンス）」と「具体例を述べた文」とを区別して読む必要があります。段落の中心となるのは「内容をまとめた文」なので、「内容をまとめた文」を、キーワードを手がかりにしてとらえます。

・キーワード…話題の中心となる重要なことばです。話題を示す文をはじめ、何度も使われます。

(3) **要旨をまとめる。**

段落の内容をまとめます。(1)でとらえた話題に合う形で、キーワードや「内容をまとめた文」の表現を使ってまとめれば、中心となることがはっきりするようにまとめることができます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1　㋐人間にとって一生のうちで、いちばん大事な時期はいつごろでしょうか。㋑これは*1愚問かもしれません。㋒人生のなかで大事でない日などというのは、一日たりとてないからです。㋓けれど、いちばん幸福な日々はいつかと問われたなら、私は確信をもって、少年時代、と答えます。㋔むろん、何をもって幸福と言うか、その考え方はさまざまでしょう。㋕しかし、私自身、自分の五十年にわたる歳月をふりかえってみて、ちゅうちょなくそう断言できるように思います。

2　と言っても、その少年時代に私は自分が幸福であるなどとは少しも思いませんでした。おそらく、だれでもそうでしょう。少年のころ、あるいは少女のころは、自分が幸福だなどと思わないくらい幸福なのです。たとえ、どれほど苦しい環境にあっても、です。

3　なぜなのだろう、と私はときどき考えます。*2端的に言えば、何につけても夢中になることができるからではないでしょうか。

4　そんなことはない、大人になってからでも夢中になれる、と言うかもしれません。たしかに夢中になれるでしょう。けれど、その夢中になるなり方がちがうのです。少年のころは、まったく我をわすれて*3没頭できる。純粋に夢中になれる。しかし、大人になると、たとえ何かにどれほど夢中になっても、かならずほかのことへの配慮が働いています。ほかのことが気になりつつ、あることに熱中しているにすぎません。

（森本哲郎「ことばへの旅」）

*1愚問＝おろかな質問。
*2端的に＝てっとりばやく。
*3没頭＝一つのことに夢中になること。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　1段落で、筆者のいちばん述べたいことが、まとまった形で書かれている一文を、㋐～㋕から選び、記号で答えなさい。

問二　1段落の要点を三十字以内でまとめなさい。

問三　2段落で強調されていることとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　筆者の少年時代があまり幸福ではなかったということ

イ　いつが幸福な時代かはだれも知りえないということ

ウ　苦しい環境ほど本当は幸福なのだということ

エ　少年時代がいかに幸福であるかということ

問四　4段落は、少年時代と大人になってからのことが、くらべる形で書かれています。それぞれの時期の、何かに夢中になるなり方を、三十字以内でまとめなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（1～5は意味段落の番号を表します。）**

1　A「友情」というものがちゃんと成立するには、タイミングが必要です。

B小学生時代はついにそういう関係はなかったとか、中学三年間通して一度も友情と言えるものがなかったということもあり得るのです。

Cでも、それは誰が悪いわけではなくて、相性がよくなかったとか、あるいは自分自身にそういう高め合うような友だち関係を維持していくメンタリティー、心のあり方がまだ備わっていなかったということなのです。

2　その友情というのが、①一つの友だち関係の中の非常に「向上心にあふれた部分」だとすると、現在の世の中では、もう少し「ゆるい友だち関係」というのも必要ではないでしょうか。

一人親友がいて、友だちはその人だけというとちょっと幅が狭いと言えます。今の人が求めているのは「浅く広い関係性」です。＊1メル友くらいの感じです。

3　メル友が百人、二百人いる人はざらにいるようですが、やはり現代は②携帯電話によって人間関係が大きく変化していて、一人でいる時間でも、友だちとゆるやかにつながっている感覚を持ち得るのです。

勉強していたり音楽を聴いている時に、常に携帯が側にあり、携帯なしではトイレにも行けない。それは、携帯がなかった世代からすると携帯に＊2依存しているように見えますが、でもこの時代に生きていくには、携帯なしでは辛いのです。

なぜかというと、夜遅くの電話のように相手に迷惑をかけずに、簡単に意思を伝えられるというのは、非常に便利なことです。「今、○○をテレビでやっているから見ろよ」というような、昔ならばかばかしくて電話では言えないことでも、メールならば気楽に言えるし、常に人とつながっている感覚が持てるのです。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

そういう意味では、昔よりも「友だち力」というものが維持しやすい条件は整っていると言えるでしょう。

4 友だちを維持しやすい条件は整っているのですが、逆に、メールが来ないと不安になったりします。メール依存症に近いものです。

友だちとつながっていない状況、連絡が来ない状況が三日も続くと、不安で頭がおかしくなりそうになるのです。

③かつて私は、友だちが全くいないという時期がありました。とても仲の良い友だちはいたのだけれど、一週間誰とも会わないとか、ほとんど話をしなかったという状況が、十代の終わりにはあったのです。そういう時期を過ごした経験からすると、二、三日誰からも連絡がないと心配になるということはなかったと思います。

5 最近の人は、ふだんからゆるやかなセイフティーネット*3のようなものを、携帯のネットワークで張っているようです。これは、心を安定させるには、それなりに有効な手段だろうと思います。お互いに好きなものがあると、「あれ見た」とか、「あれ食べた」とか、「あそこに行った」というような話題をメールして、コミュニケーションをとっていく。

こういうゆるやかなつきあいをしていくのも、④一つの友だち力と言えます。また、こういうつきあいが苦手で、たくさんの友だちとはつきあえない人もいます。でも数は少ないけれど話せる人はいるし、それで満足できるという人は、これはこれで「友だち力」があるということになります。

（齋藤孝『友だちいないと不安だ症候群につける薬』）

*1メル友＝メールをやり取りする友だち。
*2依存＝他のものにたよって存在すること。
*3セイフティーネット＝万が一のときに最悪の事態にならないようにする仕組み。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　**1** 段落で、筆者が最も言いたいことが書かれている一文は----線Ａ～Ｃのうちどれですか。記号で答えなさい。

問二　**2** 段落の要旨(ようし)をまとめた次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

現在世の中の人が求めているのは、□□□□□□□である。

問三　――線①「一つの友だち関係の中の非常に『向上心にあふれた部分』」とは、つまりどんな関係のあり方をいったものですか。文中から十二字で書きぬきなさい。

問四　――線②「携帯電話」を持つことの欠点について述(の)べているのは何段落ですか。段落番号で答えなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線③「かつて私は」で始まる形式段落は、4段落の中でどんな役割を果たしていますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　前で述べたことに反する自分自身の経験を紹介し、別の可能性を説明している。

イ　前で述べたことが、誰にでも起こりうるものだということを自分自身の経験もまじえて説明している。

ウ　前で述べたことに反する自分自身の経験を紹介しながら、何が起きるかわからない状況を説明している。

エ　前で述べたことが、現代に特有のものだということを自分自身の経験を通して説明している。

□

問六　――線④「友だち力」とは、ここではどんな能力のことですか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

携帯電話をセイフティーネットとして使い、友だちと□□□□□□□をする能力。

問七　5段落につける小見出しとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　友だちとのつきあいが苦手な人

イ　浅く広いゆるやかな友だち関係

ウ　メールによるコミュニケーション

エ　楽しい話題で友だち力をつける

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講 ● 説明的文章②

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（**1**〜**3**は意味段落の番号を表します。）

1

私は以前、『そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか！』という本を小学生向けに出しました。そうしたら、大人が読んで、よかったという反応がたくさん返ってきました。

ある女性の障害者の方からいただいた手紙には、こんなふうに書いてありました。

自分も障害を持っているので、今までどうしても友だちが少なかったのです。それで、友だちが欲しくて、ある女性とつきあっていました。その人は実は自分が友だちとして好きじゃない人なのだけど、他に友だちがいなくなるのが怖いのでつきあっていたのです。先生の本を読んで、そのことがよくわかり、そういう友だちならばいなくてもよいのかなと思った時に、すごく気持ちが楽になって、無理につきあうのを止めるようにしました。それで今はむしろ落ち着いています、と。

これは大人の女性の方ですが、こういうことは、年齢がある程度いってもあることなのです。

例えば、六十代七十代の方でも、サークル*1などの狭いつきあいの中で、誰かと誰かの距離が遠くなったとか、近くなったとかで不安になることもあります。

ですから、不安で心が揺らがないためにも、自分の心が戻るべきホームグラウンド*2みたいなものをしっかりと持っておくことが重要になってきます。

2

自分の世界をどうやって持てばいいのかというと、①自分の好きなものをしっかりと自分の周りに配置しておくことです。そうすると、友だちがい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

なくなっても、ベートーベンをひたすら聴いていれば、心は安定しますし、一人で盛り上がれます。あるいは、友だちがいなくなっても、＊3村上春樹を読み続けていれば、その世界に浸ることで満足感を持つことができます。

　そういう自分の心のやり場を求めていくうちに、その時初めて、深くレベルの高いものと関わることができるのです。逆に言えば、友だちがいなくなった時がチャンスです。

　日常的に意識が流れていってしまわずに、その意識がぎゅっと＊4凝縮していきます。そうした孤独のエネルギーによって、勉強したり、あるものを深めたりすることができるのです。

3　ですから、たいがい一流の人というのは、孤独な時期というのを持っているのです。その時生まれるのが②「＊5四面楚歌力」。

　周りが全部自分の敵であるような気がする時があります。「誰もいないんだ、俺には」と感じる時があります。その時がチャンスです。

　そうなれる僕、そうなれる私、そう考えると強くなれます。その時に状況を＊6ポジティブにとらえられると、「四面楚歌力」がつくのです。

四面楚歌の状況というのは、実は何かを集中して学ぶのにはよいことなのです。文学にせよ音楽にせよ、本格的に学ぼうとすると、実は③自分自身の世界にグーッと入り込んでいかないとできません。青年期のある時期は、むしろそうした孤独の力を持っているほうが世界が深まってきます。そこで培った一つの世界が自分の原点になったりします。

（齋藤孝『友だちいないと不安だ症候群につける薬』）

＊１サークル＝同じ趣味をもつ仲間。
＊２ホームグラウンド＝故郷。本拠地。
＊３村上春樹＝作家。
＊４凝縮＝こりかたまって、ちぢまること。
＊５四面楚歌＝まわりがみな敵で、味方がいないという意味の、中国の古典に由来することば。
＊６ポジティブ＝ここでは、前向きなこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　1 段落の話題の中心はどんなことですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□とのつきあいから生まれる□□。

問二　1 段落で、筆者が最も言いたいことが書かれている一文を文中からさがし、その初めの五字を書きぬきなさい。

□□□□□

問三　――線①「自分の好きなもの」の例として挙げられているものを、文中からすべて書きぬきなさい。

問四　2 段落の要旨（ようし）として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　友だちがいなくなっても満足できるような世界こそ深くてレベルが高いものである。

イ　孤独のエネルギーがあれば、心のやり場がなくても心が安定する。

ウ　友だちがいなくなった時にそなえて日常的に勉強しておくことで満足感が得られる。

エ　自分の世界を求めていくことを通して、自分を深めることができる。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線②「四面楚歌力」とほぼ同じ内容を表す四字のことばをここよりあとの文中からさがし、書きぬきなさい。

□□□□

問六　――線③「自分自身の世界にグーッと入り込んでいい」く様子を表す十五字のことばを文中から書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□

問七　**３**段落の要旨をまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

青年期における□□□□の状況は、のちの自分にとっての□□となり得る□□□□□を培うチャンスといえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（1〜5は意味段落の番号を表します。）**

1　そんなに寂しさを感じないで、ひとりでいる時が快適に思えることもあります。①孤独の時間というものを、もっと積極的に意義あるものにするべきです。

寂しいという気持ちを徹底して強めていくことで仕事へ向かうエネルギーに転換するとか、勉強するエネルギーに変えていくとか、そういう「孤独力」みたいなものに持っていければいいのです。

2　ただし、ひとりでいる時に充分楽しめる「何か」を持っているということが必要になります。その「何か」をあらかじめ作っておかないと、ひとりになった時に、やはり寂しくなってしまいます。

私の場合は、座禅や、ヨガや、ストレッチングをやっていて、これはひとりの時間を延々つぶせるよい方法でした。ヨガを習って、ひとりで呼吸法のポーズをとっていると、人がいるとやりにくくて、じゃまになってくるのです。ですから、これはひとりの時間にやるのがふさわしいのです。

このように、ひとりの時間には自分の身体とつきあうというのが、とてもよい方法でしょう。ストレッチング一つとっても、結構時間をかけて楽しめる方法があって、音楽をかけながらでもいいですので、ひとりで自分の身体とつきあうというのもなかなかいいのではないでしょうか。

ひとりの時間を楽しむ方法としては、読書や音楽や絵を描くことなども、一般的な方法としてあります。

3　ひとりの時間と言っても、自分の部屋にこもって妙に落ち着いてしまって、いわゆる②引きこもりに近い状態になってしまうと危険です。

ネットを通じてなら人と話せるのだけれど、現実の人間と対面するという状況に適応できなくなってしまう。そうなると、もう家から踏み出せなくなって、外は怖いということになりますので、こういう状況は避けたい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ひとりでも大丈夫というのはよいのですが、他の人との対面はダメということになってしまうと、ちょっと危険です。他の人の持っている世界に対する好奇心がなくなるのは、よくないことです。自分の殻の中に入って、自分の世界を閉じた状態が固まってきてしまうと、いよいよ人とは話せなくなってきてしまう。これがあまり進むと、犯罪に一歩近づくという怖さもある。ですから、これもほどほどがいいのです。

極端な孤独の状態に入る場合には、③修行だと思ってやったほうがよいのです。修行だと思って勉強しているうちは大丈夫。

女同士もグループ化が激しいので、かえって孤独のほうが楽な場合もあります。ひとりでいるというのは、慣れてみると快適だったりすることもあります。

4 人生にも季節があって、それぞれの時期の友だちというのがあります。熱い友情を語ることもあれば、仕事上のつきあいで何となく友だちでいることもある。

かなり年が離れていても、二十歳くらい年下でも、友だちっぽくなってしまう人もいます。そういう友だちが、ちょうど心地よい年齢みたいなものがあります。

5 友だち力というのは、友だちを作る力ではないのです。無理して作らなくてもいいということも含めて、友だちとの距離感をコントロールできるということです。距離感が大事というニュアンス*です。

友だちとの距離感を意識して、自分でコントロールできていれば大丈夫なのです。ところが、「仲間はずれにされちゃった」というように、されちゃった感が強すぎるのは、自分でコントロールできていない状態です。

気持ちを軽く持って、ほどほどの友だち力をつけていきたいものです。

（齋藤孝『友だちいないと不安だ症候群につける薬』）

＊ニュアンス＝ここでは、意味合い。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「孤独の時間というものを、もっと積極的に意義あるものにする」とありますが、それができる能力を筆者は何と呼んでいますか。［1］段落の文中から書きぬきなさい。

問二　［2］段落の小見出しとして使える十二字のことばを文中から書きぬきなさい。

問三　――線②「引きこもりに近い状態」の人と、③「修行だと思って」いる人は、ひとりの時間に対してどんな姿勢でいると言えますか。最もよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　ひとりであることをいやがっている。
イ　ひとりであることににげこんでいる。
ウ　ひとりであることをうらんでいる。
エ　ひとりであることを利用している。

②　③

問四　［3］段落の要旨をまとめた次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

孤独であることはよいが、□にしてはいけない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　4段落に書かれている内容として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　人生の中で、いろいろな友だちが急激（きゅうげき）に増える時期があるものだ。

イ　友だちと自分とが人生のどれぐらいの間つきあうのかは、それぞれの年齢によってちがうものだ。

ウ　どんな相手であっても、つきあうのにちょうどよい年齢があるものだ。

エ　友だちというものは、人生の時期・年齢によって、いろいろなつきあい方、いろいろな相手があるものだ。

□

問六　5段落の要旨をまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□とは友だちとの□□□を□□□□□□できる力である。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講・文学的文章③

◆登場人物をとらえる

物語では登場人物をとらえることが大切です。登場人物というと人間だけのようですが、動物や植物でも、人間のように考えたり話したりするものは、登場人物です。

(1) だれが登場するのかをとらえる。

それぞれの場面においてだれが登場するのかに注目して、すべての登場人物をとらえます。

(2) 登場人物の性格をとらえる。

それぞれの登場人物の性格をとらえます。登場人物の心情は場面によって変わりますが、性格はあまり変わりません。

① 性格を直接(ちょくせつ)表した表現をとらえる。

地の文で登場人物の性格を述(の)べているところのほか、他の登場人物がその人物のことをどのように言っているかにも注意します。

② しぐさ・様子・行動からとらえる。

物語中で起きるできごとに対しての登場人物のふるまいから性格をとらえることができます。

(3) 登場人物どうしの関係をとらえる。

物語に登場する人物（特に主人公）が、他の人物とどんな関係にあるかをとらえましょう。登場人物の立場（地位・職業(しょくぎょう)など）や会話の口調などに注意します。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「きっちゃん、きっちゃん」

信雄の声は、子供たちの喚声や祭り囃子に消されてしまった。喜一は小走りで先へ先へと進んでいく。相当＊狼狽して信雄を捜しているふうであった。信雄は大人たちの膝元をかきわけ、必死で走った。何人かの足を踏み、ときどき怒声を浴びて突き飛ばされたりした。境内の手前にある風鈴屋の前でやっと喜一に追いついた。赤や青の短冊が一斉に震え始め、それと一緒に、何やら胸の底に突き立ってくるような冷たい風鈴の音に包み込まれた。信雄は喜一の肩を摑んだ。①喜一は泣いていた。泣きながら何かわめいた。

「えっ、なに？　どないしたん？」

よく聞きとれなかったので、信雄は喜一の口元に耳を寄せた。

「お金あらへん。お金、落とした」

②風鈴屋の屋台からこぼれ散る夥しい短冊の影が、喜一の歪んだ顔に映っていた。

（宮本輝『泥の河』）

＊狼狽＝あわてふためくこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「喜一は泣いていた」とありますが、なぜ、喜一は泣いていたのですか。その理由を二つ答えなさい。

問二　――線②「風鈴屋の……映っていた」から喜一のどんな心情がわかりますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　さびしさ　**イ**　強い不安

ウ　あきらめ　**エ**　心地よさ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

川ぞいのＹ病院の受けつけで、診察券を出して待合室に入ると、

「よっ」

①大きなボストンバッグを下げた、*哲に声をかけられた。正直にいうと、ボサボサ頭で、ところどころほつれのあるセーター姿の哲と話すことは、はずかしかった。

待合室の人々の視線が、みんなぼくたちに集まったような気がした。

「風邪か」

哲の言葉に、だまってうなずいた。

「唐沢君は」

そういってから、ぼくはいいなおした。

「哲は」

「入院しているばあちゃんの洗たく物を取りにきたんだ。なかなか、足がよくならなくてさ」

といって、肩をすくめた。

「②ジュースでも飲まないか」

ぼくは、その場から早く離れたかった。

ぼくが、自動販売機に歩き出すと、

「悪りぃな。おれ、オレンジ」

哲も、すなおにあとをついてきた。

「病院の中、暖房強いから、のどかわいて」

ジュースをいっきに飲みほした哲は、セーターのそでで口をぬぐった。

「それ、哲が、洗うの？」

「うん。③おれしかいないじゃん。といっても、洗たく機がやるんだけどさ」

ぼくは、今まで一度も洗たく機のボタンを押したことがない。

「おれんちのかあちゃん、心の病気で入院してんだ。とうちゃんは、おれが三年生の時、屋根から落ちて死んでさ、大工だったからね。かあちゃん、下の妹産んだばかりで、それで入院したんだ」

ぼくは、ジュースの缶を見ていた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「仲、よかったんだね」

「えっ？」

哲は、ぼくのいったことの意味がわからなかったらしく、ききかえしてきた。

「哲のおとうさんとおかあさんさ」

「あぁ、うん。そりゃあ、仲よかった。とうちゃんが仕事休みの日は、よくドライブに出かけたし、家にいると、みんなでよくわらったなぁ。とうちゃんとかあちゃん、十八歳で結婚したんだ。式なんてしてないし、新婚旅行なんてしてないけど、おれたちは世界一仲がいいって、とうちゃんいってた」

哲の言葉が、つまった。

「だからさ、おれ」

哲が、鼻水をすすった。

「男だし、ばあちゃんや妹たち、しあわせにしなくちゃならないんだ。とうちゃんのかわりに」

④ぼくは、もうジュースが飲めなかった。

（上條さなえ『友だちじゃないか』）

＊哲＝「ぼく」の同級生。おさない妹二人のめんどうをみるため、学校を休みがちである。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「ぼく」は病院へ何をしにきましたか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

□をひいて、診察を受けにきた。

問二　哲は病院へ何をしにきましたか。それがわかる一文を文中から書きぬきなさい。

□

問三　――線①「大きなボストンバッグ」には何が入っていると考えられますか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

入院中のばあちゃんの□。

問四　――線②「ジュースでも飲まないか」と言ったとき、「ぼく」はどんな気持ちでしたか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　哲と話しているところをみんなに見られるのが、はずかしくてたまらない気持ち

イ　だれにもじゃまされずに哲とじっくり話をする機会ができたのを、喜ぶ気持ち

ウ　家のことでいろいろたいへんな哲を、はげましてあげたい気持ち

エ　予想外の場所で友だちに会えたのがうれしく、落ち着かない気持ち

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線③「おれしかいないじゃん」とありますが、洗たくをする人が哲しかいないのはなぜですか。哲の家族の状況（じょうきょう）をまとめた次の表の空らんにあてはまることばをそれぞれ書きなさい。

とうちゃん	
かあちゃん	
ばあちゃん	
妹たち	まだおさなく、哲がめんどうをみている。

問六　**問五**の哲とは対照的な「ぼく」の立場がわかる一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問七　――線④「ぼくは、もうジュースが飲めなかった」とありますが、これは「ぼく」のどんな様子を表していますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　子どもなのに重い責任を負っている哲が気の毒で、なみだを必死にこらえている様子

イ　哲の置かれている状況が予想より良かったので、拍子抜け（ひょうしぬ）けしている様子

ウ　哲のあわれな身の上話を聞いて、どうなぐさめたらよいか考えをめぐらせている様子

エ　家族に対して何の責任も負っていない自分を哲と比べ、気が引けている様子

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講・文学的文章④

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔ぼくと哲（てつ）はしだいに仲良くなっていったが、哲はおじさんの家に引っこすことになった。〕

「①お別れ会の実行委員を、決めなくちゃ」

宮本（みやもと）さんが、立ち上がった。

「そうだな、実行委員をやってくれる人、手をあげて」

先生の言葉に、ぼくは気がつくと手をあげていた。

「村松、おまえ、やってくれるのか」

ぼくが、うなずくと、哲が、

「村松はいいよ、先生」

と、大きな声でいった。

ぼくは、哲を見た。

「村松は、入試があるじゃんかぁ、先生。大事な時だぜ。だめだなぁ、先生、教育的配慮（はいりょ）がたりないよ」

「あっ、そうか」

先生が、頭をかいた。

「いえ、先生、ぼく、やります」

ぼくは、自分の意見を通した。

給食の時間、哲のまわりを女の子が、とりかこんだ。

それを見て、先生が、

「すげえ、哲、アイドルみたい」

と、ひやかすと、

「おれ、アイドルだもん、先生。知らなかったの、どっから見てもジャニーズ系（けい）じゃん」

哲が、サラサラのかみの毛を片手（かたて）でかき上げるしぐさをした。

「ジャニーズ系って、なんだ？」

先生が、けげんそうな顔をして、みんなにきいた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「先生、おくれてるぅ。今、一番人気あるアイドルグループの事務所（じむしょ）の名前で、そこからデビューしたアイドルを、ジャニーズ系っていうんだよ」
青木が、説明すると、先生は腰（こし）をちょっとひくくするふりをして、
「失礼しました」
といったので、クラスにわらいが起きた。
「それぐらい知ってないと、子どもの心はつかめませーん」
哲が、いうと先生は、
「反省してます」
と、頭をかいた。
②いつものクラスのふんいきになった。
一瞬（いっしゅん）、ぼくは哲の転校を、忘（わす）れそうになった。
③授業のあと、先生が職員室にぼくを呼（よ）んだ。
先生の机（つくえ）の上に小さなカレンダーが置いてあって、二月の二十日、二十二日、二十五日に赤丸がしてあった。
「もうすぐだな、入試」
先生が、カレンダーを見ていった。
ぼくは、先生のやさしさに胸（むね）がいっぱいになった。
「だいじょうぶか、実行委員。先生はうれしかったけどさ。家で心配するんじゃないか」
「だいじょうぶです」
「そうか。哲、よろこんでたよ」
「だって……」
④ぼくは、もう一度カレンダーを見た。
「だって、哲は、ぼくの友だちなんです」
先生が、だまって、うなずいた。
（上條（かみじょう）さなえ『友だちじゃないか』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「お別れ会」とありますが、だれのお別れ会ですか。

[　　　　]

問二　「ぼく」がお別れ会の実行委員をするかどうかについての(1)先生、(2)哲、(3)「ぼく」の考えとして最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　友だちなのだから、ぜひともやるべきだ。

イ　入試の前で大変だろうが、やってくれたらうれしい。

ウ　気持ちはうれしいが、大事な時だからやらないほうがよい。

エ　やりたい人はたくさんいるので、無理にやらなくてよい。

オ　仲がよかったわけでもないのに、出しゃばらないでほしい。

(1) [　]　(2) [　]　(3) [　]

問三　――線②「いつものクラスのふんいきになった」とありますが、(1)「いつものクラスのふんいき」、(2)「いつものクラスのふんいき」になる前のふんいきとして最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　きびしく責（せ）め合うふんいき

イ　明るく笑い合うふんいき

ウ　期待にうかれるふんいき

エ　別れを悲しむふんいき

(1) [　]　(2) [　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「授業のあと、先生が職員室にぼくを呼んだ」とありますが、何のためですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

［　　］をひかえた「ぼく」が［　　］になったことを、［　　］というこ とをかくにんするため。

問五　――線④「ぼくは、もう一度カレンダーを見た」とありますが、何を見たと考えられますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　「ぼく」の入試までの日数
イ　お別れ会までの予定
ウ　先生の今後の予定
エ　哲がいなくなってしまう日

［　　］

問六　この文章から、(1)先生、(2)哲、(3)「ぼく」のどんな性格が読み取れますか。その説明として最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　ふざけてばかりに見えるが、人を気づかうやさしさがある。
イ　だれに対してもやさしく、クラスの人気者である。
ウ　しっかり者で、先生にもクラスのみんなにもたよられている。
エ　子どもの関心事にはうといが、温かい心をもっている。
オ　まじめで、思いこんだらがんこにゆずらないところがある。

(1)［　　］
(2)［　　］
(3)［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

給食の終わり近くになって、哲がビニールぶくろを持って、立ち上がった。

ぼくは、まったく手をつけていないパンを、ナプキンで包んだ。

お腹は、すいていたけど、パンを食べなかった。

①今日こそは、哲にパンをあげたいとおもったのだ。

「さて、みなさん、最後のカンパ＊です」

哲が、歩きはじめた。

宮本さんが、青木が、哲のビニールぶくろにパンを入れた。

ぼくは、なんども深呼吸をした。

哲が、ぼくのそばへ歩いてきた。

「これ……」

ぼくは、ナプキンで包んだパンをさし出した。

哲が、ぼくと、パンを交互に見た。

哲は、ちょっと、悲しそうな顔をした。

そして、

「いらねぇよ」

と、いった。

「えっ？」

ぼくには、哲の言葉の意味がわからなかった。

「いらねぇよ、②おれ、友だちからはもらわねぇんだ。だって、おれたち、友だちじゃないか」

ぼくは、哲に失礼なことをしたとおもった。

「ごめん」

「対等で、いたいんだ」

哲は、小さな声でいった。

ぼくは、パンの包みを机の上にもどした。

哲を友だちだといいながら、ぼくは哲をあわれんでいた。

ぼくたちは、決して、対等ではなかったんだ。

先生が前にいった、貧富の差ということをおもい出していた。

土曜日のお別れ会に行こうか、どうしようか、ぼ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

くはまよっていた。

③ぼくという人間に、ぼく自身が失望していた。

「類、電話よ、女の子から」

ママの声に、トゲがあった。

受話器の向こうから、宮本さんの声がきこえた。

「ごめんなさい。お別れ会に、村松君こないから電話したの。あのね、私も青木君も、昨日、ショックだった。④私や青木君なんて、哲ちゃんにとって、友だちでもなんでもなかったんだって。村松君だけが、哲ちゃんにとって、友だちだったって、昨日、知ったから」

「ぼくも、友だちじゃないよ」

「そんなことないわ。私や青木君たちは哲ちゃんがかわいそうだって、ただ同情してたの。村松君は、ちがう」

ぼくは、時計を見た。

まだ、お別れ会が始まって十五分しかたっていない。

「行くよ、ぼく」

受話器を置くと、ママがいった。

「友だちは、これからいっぱい、できるわ」

って。

⑤ぼくは、ママの顔を見ずに玄関に行った。

（上条さなえ『友だちじゃないか』）

＊カンパ＝うちに働き手がいない哲は、給食のパンの残りをみんなからもらっていた。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　——線①「今日こそは、哲にパンをあげたいとおもったのだ」とありますが、「今日こそは」と思ったのはなぜですか。

問二　初めてのカンパに、「ぼく」がきんちょうしている様子がわかる一文を文中から書きぬきなさい。

問三　——線②「おれ、友だちからはもらわねぇんだ」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　哲は、「友だち」とはどんな関係でありたいと考えていますか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

□□な関係。

(2)　哲は、どんな人からならパンをもらうのですか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

哲にただ□□しているだけの人。

問四　何でもないことのようにパンをもらう哲ですが、本当はどんな気持ちだったのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　うれしい　　**イ**　はらだたしい
ウ　つらい　　**エ**　ほこらしい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線③「ぼくという人間に、ぼく自身が失望していた」とありますが、「ぼく」が失望しているのは、自分のどんなことに気づいたからですか。それがわかる一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問六　――線④「私や青木君なんて、哲ちゃんにとって、友だちでもなんでもなかった」とありますが、宮本さんはそれをどんなことから知りましたか。次の文の□にあてはまることばを書きなさい。

さんや青木君のパンは□□□□こと

「友だちからはもらわない」と言う哲が、宮本

問七　――線⑤「ぼくは、ママの顔を見ずに玄関に行った」とありますが、それはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　へたな言いわけをして、ママにうそをついて出かけることが知られてしまうとこまるから。

イ　友だちを大切に思う気持ちがわからないママと話などしたくないし、早くお別れ会に行きたかったから。

ウ　「ぼく」のすることにいちいち口出しをしてくるママに、うんざりしていたから。

エ　「ぼく」を心配してくれるママの言うことにしたがわないのが、心苦しかったから。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講・説明的文章③

◆**文章の構成**

それぞれの段落の役割をとらえ、段落と段落の関係をつかむと、筆者の説明しようとしていることがはっきりします。

(1)　**話題を述べる段落**

ふつう、文章の初めにあります。

(2)　**前の段落の内容と同じようなことを付け加えて述べる段落**

「また」「そして」「さらに」などのつなぎことばに注意します。よく前の段落と結びついて大きな意味段落を作ります。

(3)　**前の段落の内容とは反対の内容を述べる段落**

「しかし」「ところが」などのつなぎことばに注意します。

(4)　**前の段落の内容の具体例を述べる段落**

「たとえば」などのつなぎことばに注意します。

(5)　**前の段落の内容をまとめ、言いかえる段落**

「つまり」「要するに」などのつなぎことばに注意します。

(6)　**前の段落の内容とは別の話題の内容を述べる段落**

「ところで」「さて」などのつなぎことばに注意します。文章の大きな切れ目となり、前の段落と結びつくことはありません。

※多くの文章では、それぞれの形式段落が(1)～(6)のような役割をもちながら前後の段落と結びついて意味段落を作り、その意味段落全体がまた前後の意味段落に対して(1)～(6)のような役割をもつというような複雑な関係になっています。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（1～15は段落番号を表します。）

1　法隆寺大工の*1棟梁から弟子へ、そのまた弟子へと受けつがれてきた*2口伝は、自然を知りつくした、むかしの職人たちの知恵といえます。

2　たとえば①「用材は木を買わず山を買え」という教えがあります。

3　同じヒノキでも、環境によって、育ち方はまったくちがってきます。地域によって、土壌もちがうし、季節ごとの気候や温度もちがいます。それが木の育ち方や、木材としての質のちがいにもなるのです。

4　だから、お堂や塔を建てるときには、あちこちの山からの木をつかうのではなく、ひとつの山に育った木をつかったほうがいい。一本一本にくせのちがいはあっても、ぜんたいとして木の力がそろっているほうがいいからです。それが「木を買わず山を買え」という言葉になっているのです。

5　「木組みは寸法で組まず木のくせで組め」という言葉もあります。

6　木は、人間と同じように、一本一本特徴というかくせがある。だから、そのくせをしっかり見てつかわないといけないという教えです。

7　同じくらいの太さをもったヒノキでも、生えている場所の風向きなどによって、右によじれようとするくせのついた木もあれば、左によじれようとするくせのついた木もある。それを無視して、右によじれる木ばかりをつかうと、建物ぜんたいが右によじれてしまいます。

8　では、よじれる木はつかえないのかというと、そんなことはありません。右によじれる木と、左によじれる木を組み合わせてつかう。そうするとおたがいのくせがかえって生きてきて、建物を強くささえることができるのだそうです。

9　また、山の中腹より上で育った木は、雨風にさらされてくせがある。くせがあるかわりに芯が強いから、柱など建物をささえるところにつかうの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

に適しているといいます。

10 ところが、谷で育った木は、雨風にさらされないから、くせがない。素直なかわりに弱いから、柱にはできない。木目がそろっているから、天井とか化粧板につかうといいというのです。

11 たったひとこと、ふたことの言葉のなかにも、むかしの職人たちが、自然を深く知りつくしてきたことがうかがえます。

12 法隆寺の大修理にもたずさわった、西岡常一さんという、*3宮大工の棟梁は、「②千年の木なら、千年のくせがついている。そのくせを知り、くせにあったつかい方をすれば、木造建築物は、千年は充分にもつ」といっています。けれども、くせを無視してみな同じつかい方にしてしまうと、千年もつものも、もたなくなってしまうというのです。

13 法隆寺ができた飛鳥時代から受けつがれてきたこんな口伝は、自然とともに生きてきた職人たちの知恵です。木を育て、森を守り、そして山を大切にしてきた、むかしの人たちの知恵です。

14 でも、木を知りつくした職人たちの知恵や技術も、修理につかう木がないとなると、やがては消えてしまうことになります。千年以上もむかしから受けついできた口伝も生かしようがないのです。

15 これは、法隆寺だけの問題でありません。日本じゅうの由緒あるお寺や神社がかかえる大きな問題です。お寺や神社だけではありません。お城や橋など、立派な木造建築物が日本にはたくさんあります。その修理につかえる大きな木が、なくなってきているのです。

（立松和平『古事の森』）

＊１棟梁＝大工の親方。
＊２口伝＝師が学問や技芸の大切な内容を口で伝えて教えること。その教え。
＊３宮大工＝神社やお寺の建築や修理をせんもんにする大工。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　第[1]段落とほぼ同じ内容を述べている段落をさがし、段落番号で答えなさい。

□

問二　――線①「用材は木を買わず山を買え」という教えは、どんなことを重視しているのですか。「〜こと」につながる十七字のことばを文中から書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□□こと

問三　木と、木が育った環境の関係をまとめた下の表の(1)〜(4)にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

木が育った場所	環境	木の性質	つかうのに適する所
山の中腹より上	雨風にさらされる	(2)	(3)
谷	(1)	くせがなく素直だが、弱い	(4)天井や

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

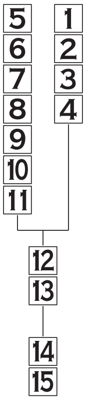
問四　――線②「千年の木なら……千年は充分にもつ」とありますが、「くせにあったたつかい方」をするとは木をどのようにつかうのですか。

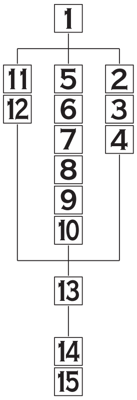
［　　　　　　　　］

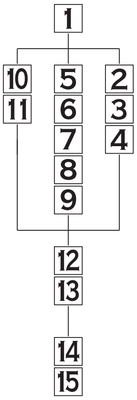
問五　この文章で筆者が述べようとしていることをまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

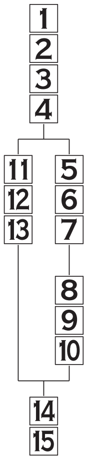
法隆寺など木造建築物の［　　］につかえる［　　　　］がなくなってきており、このままでは［　　　　　　］［　　］職人たちの受けついできた知恵や技術が生かせなくなってしまう。

問六　この文章の段落と段落の関係を図示（ずし）したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア


イ


ウ


エ


［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講・説明的文章④

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

古いお寺や神社などの修理につかえるような大きな木を「大径木」といいます。法隆寺には樹齢数百年、千年以上の①ヒノキが多くつかわれていますが、②そんな大きなヒノキは、日本にはもうないのです。伝統的な木造建築物の木材としては、強くて美しいヒノキがつかわれています。

お寺に行って、建物の外側につきでた屋根の裏側を下から見ると、何本も太い木が並んでいるのが見えます。それが屋根をささえている「垂木」といわれる木材です。

③法隆寺の解体修理のときに、屋根の瓦をとると、その垂木がもとにもどるようにはねかえったというのです。それまで何百年も重い屋根瓦を背負っていたにもかかわらず、ピンと背筋を伸ばすように、まるで生きているようにはねかえるのです。それほど、ヒノキは強く、しなやかな木なのです。

丈夫で強い木でありながら、加工がしやすいやわらかさをもっている。しかも、仏像にもつかわれるほど木の肌が美しく、香りもよい。ヒノキは建築材の王様といってもいいくらいなのです。

でも、そのヒノキがない。建築材としてつかえる大径木がない。いまの日本では、樹齢五百年以上のヒノキはほとんど伐りつくされてしまっているのです。あったとしても神社の御神木や、鎮守の森になっていたら、天然記念物に指定されていて、材として伐採できません。

二十年ほどまえにおこなわれた奈良・薬師寺の修理では、台湾から輸入したヒノキがつかわれました。でも、その台湾でも、森林保護のため、輸出が禁止

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

されるようになりました。
④ないのは、建物につかわれるヒノキだけではありません。
たとえば、法隆寺の金堂修正会には「厳祈」といわれる行があります。漆の棒で、金堂の柱とか畳をたたいてまわるのです。まわりは国宝の仏像だらけだから、ちょっと心配になるくらい、激しくたたいていくのです。その行には、伝統として漆の木が必要です。ところが、なかなか手に入らないのです。
それから、法隆寺には「鬼追式」とか「追儺式」といわれる、鬼を追い払う儀式があります。このときつかわれる松明は、赤松の根っこの「ジンタ」といわれる部分でつくります。その「ジンタ」がとれる大径木がもうほとんどないのです。
こんな伝統行事につかう木に苦労しているのは、法隆寺だけではありません。全国の神社仏閣が、いうにいわれぬ苦労をしているはずです。これは、日本の伝統文化の危機ともいえるのです。

法隆寺の修理のひとつとっても、昭和の大修理はなんとか終えることができましたが、では、三百年後か四百年後にやってくる大修理のときはどうするのだろう？　つかえる大径木のヒノキ材が日本にもない、輸入もできないとなったら、いったいどうしたら……。
そんな心配がぼくの頭のなかでもつのっていました。
あれは、金堂修正会でのお手伝いをするようになって、七年目のときです。いつものように底冷えのする金堂の片隅で、お坊さんたちといっしょに声明をとなえていて、はたと思ったのです。
「⑤いまから植えれば、まにあうじゃないか……四百年後につかえる木が育つじゃないか」
お祈りをしているときは、本当は無心でないといけないのです。なにも考えず、ただひたすら声明を唱えるのがお祈りなのですが、ぼくの頭のなかでは「古事の森」のイメージがどんどん広がっていたのです。

（立松和平『古事の森』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ヒノキ」の建築材としての長所として文中で挙げられていることを次のうちから・・・すべて選び、記号で答えなさい。

ア　手に入りやすいこと
イ　美しいこと
ウ　加工しやすいこと
エ　安いこと
オ　強いこと
カ　燃えにくいこと
キ　香りがよいこと
ク　ゆがみにくいこと

問二　――線②「そんな大きなヒノキは、日本にはもうないのです」とありますが、それはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　ヒノキはそんなに大きく成長できないから。
イ　ヒノキの育つような自然環境が失われたから。
ウ　ほとんど伐りつくされてしまったから。
エ　輸入されたヒノキに負けてしまったから。

問三　――線③「法隆寺の……はねかえったというのです」とありますが、この事実から筆者はどんなことを述べようとしていますか。二十字以内で書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「ないのは……ヒノキだけではありません」とありますが、ほかにたとえば何がないのですか。次の〔　〕にあてはまることばを、文中からそれぞれ答えなさい。

・「厳祈」で伝統的に使われてきた〔　　　〕
・〔　　　〕がとれる赤松の大径木

問五　――線⑤「いまから植えれば、まにあう」とありますが、何にまにあうのですか。文中から十八字で書きぬきなさい。

問六　この文章の段落（だんらく）構成について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　この文章を内容から三つに分けるとすると、二つめと三つめはどこから始まりますか。それぞれ初めの七字を書きぬきなさい。

二つめ
三つめ

(2)　(1)で分けた三つのまとまりの内容を次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　ヒノキは建築材の王様
イ　伝統文化の危機
ウ　つかえる木とつかえない木
エ　心にめばえた「古事の森」
オ　暗いヒノキの未来

一つめ　　二つめ　　三つめ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（1〜14は段落番号を表します。）

1　最初に「古事の森」の話を西堀*さんにしたのは、二〇〇一年の十月ころです。その三か月後には、候補地として京都の鞍馬山国有林が決まり、二〇〇二年の春には、植林することになった。まさにトントン拍子でした。

2　いい森をつくりたい。未来にたいせつな森を残していきたい。その思いは林野庁の人たちも同じだったのです。

3　古いお寺や神社のなかには、もともと、自分で山林をもっているところもあります。伊勢神宮は、二十年に一度、「遷宮」といって、社殿を新築してご神体をうつします。そのために必要なヒノキの森は、伊勢神宮が自ら育て、守っています。でも、全国のすべてのお寺や神社が、山林をもてるわけではありません。

4　それに、「適地適木」といって、その木が育つのにふさわしい土地があります。

5　法隆寺も、裏山に植林はしています。けれども、土地の性質からいって、どんなに育っても九十年ほどだそうです。法隆寺の大修理につかえるような、樹齢数百年以上のヒノキは、そこでは育たないのです。

6　四百年もヒノキを育てるとしたら、やはり、①国有林がいいということになります。②民有林にはどうしても個人の事情が生じやすい。日本には七六〇万ヘクタールもの国有林があるのです。全部あわせたら国土の二割にもなります。

7　日本中にある国有林のなかから、その木にあった山を探すことができます。四百年のあいだ、「不伐の森」にすることも、国が太鼓判をおしてくれるというわけです。

8　木を苗木から育てるには、いろいろな手入れもしなければなりません。

9　根にじゅうぶんな栄養をいきわたらせるために、まわりの雑草などを刈る「下刈り」をしなけ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ればなりません。夏の暑い時期にやる作業です。

10 樹齢が十年をすぎるころになると、下のほうの枝を切る「枝打ち」もしなければなりません。余分な枝を切ると、木材としてつかうときの材質がよくなるのです。ヒノキは十年おきに二、三回くりかえされます。

11 木がもっと大きくなると、となりどうしの木のあいだがきゅうくつになってきます。そのままにしておくと、枝と枝が重なりあって、うまく成長できない木がでてきます。

12 日差しが地面にあたらなくなるので、暗く、草もはえてきません。そうなると、森が荒れてしまうのです。それを防ぐためにおこなうのが「間伐」です。伐ってもいい木を選んで本数を減らすのです。

13 苗木を元気に大きく育て、建築材として立派な柱にもつかえるようにするためには、③植えたあとの管理もたいせつな仕事なのです。その管理を四百年ものあいだ、きちんとやっていくには、民間の人たちがもっている民有林より、やはり国有林がいいにちがいありません。

14 代々受けつがれてきた木造建築物と、その建物のなかではぐくまれてきた精神や思想。それを、さらにつぎの世代の日本人に伝えるために、「四百年不伐の森」として育てていく。この「古事の森」の話に賛成してくれた二百人ちかい人たちが、京都の④鞍馬山での植樹に、朝早くから集まってくれたというわけです。

（立松和平『古事の森』）

＊西堀さん＝筆者の友人で、国有林（＝国が保護・管理する森林）を管理する林野庁の役人。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の(1)〜(3)は、——線①「国有林」と②「民有林」のどちらにあてはまりますか。それぞれ番号で答えなさい。

(1)　ある木に対する適地を探しやすい。
(2)　個人の事情に左右されやすい。
(3)　長い期間の管理がしやすい。

(1) □　(2) □　(3) □

問二　——線③「植えたあとの管理」に必要な、次の(1)〜(3)のことがらの説明として最もよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1)　枝打ち　(2)　間伐　(3)　下刈り

ア　下のほうの余分な枝を切る。
イ　まわりの雑草などを刈る。
ウ　木のあいだがきゅうくつになってきたときに、数を減らす。

(1) □　(2) □　(3) □

問三　——線④「鞍馬山での植樹」とありますが、古事の森をつくる場所として鞍馬山が選ばれたのは、どんな条件に合っていたからですか。その条件の内容を、「ヒノキ」ということばを使って十八字以内で書きなさい。

問四　次の(1)〜(8)は、どの段落の要点をまとめたものですか。それぞれ段落番号で答えなさい。

(1)　植林のあと管理していくにも、国有林のほうがよい。
(2)　いい森をつくりたいという思いは林野庁の人も同じ。
(3)　法隆寺の裏山では、ヒノキは九十年ほどしか育たない。
(4)　木が成長して枝が重なりあうと、うまく成長できなくなる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5) トントン拍子に進んだ「古事の森」。

(6) すべての寺社が伊勢神宮のように自分で山林をもてるわけではない。

(7) 歴史ある木造建築物とその精神をつぎの世代に伝えるための「古事の森」。

(8) 木には、育つのにふさわしい土地がある。

(1)	(5)
(2)	(6)
(3)	(7)
(4)	(8)

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講・文学的文章⑤

◆心情をとらえる

心情とは気持ちのことです。物語を読むときには、登場人物の心情をとらえることが大切です。

(1) 直接的（ちょくせつてき）な表現をとらえる。

「うれしい」「悲しい」「はらを立てる」など、気持ちを直接表したことばをとらえましょう。

(2) 登場人物の発言に注目する。

気持ちを直接言わなくても、人のことばは気持ちを表すことがあります。

(3) 登場人物の表情や様子、行動に注目する。

ことばだけでなく、表情や様子、行動からも、その人物の気持ちを考えることができます。

(4) 登場人物の性格に注目する。

同じことばや行動であっても、だれが言う(行動する)かによってそこに表される気持ちは変わってきます。

(5) 情景から人物の気持ちを考える。

人物ではなく、情景を表すことばからも、人物の気持ちを読み取ることができます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

おお、①よだかでないただのたかならば、こんな生(なま)はんかのちいさい鳥は、もう名前を聞いただけでも、ぶるぶるふるえて、顔色を変えて、からだをちぢめて、木の葉のかげにでもかくれたでしょう。ところがよだかは、ほんとうはたかの兄弟でも親類でもありませんでした。かえって、よだかは、あの美しいかわせみや、鳥の中の宝石(ほうせき)のようなはちすずめの兄さんでした。はちすずめは花の蜜(みつ)をたべ、かわせみはお魚をたべ、よだかは羽虫(はむし)をとってたべるのでした。それによだかには、するどいつめもするどいくちばしもありませんでしたから、②どんなに弱い鳥でも、よだかをこわがるはずはなかったのです。

それなら、たかという名のついたことは不思議なようですが、これは、一つはよだかのはねがむやみに強くて、風を切ってかけるときなどは、まるでたかのように見えたことと、も一つはなきごえがするどくて、やはりどこかたかに似(に)ていたためです。もちろん、③たかは、これをひじょうに気にかけて、いやがっていました。それですから、よだかの顔さえ見ると、*肩(かた)をいからせて、早く名前をあらためろ、名前をあらためろ、というのでした。

ある夕がた、とうとう、たかがよだかのうちへやって参りました。

「おい。いるかい。④まだお前は名前を変えないのか。ずいぶんお前もはじ知らずだな。お前とおれでは、よっぽど人格(じんかく)がちがうんだよ。たとえばおれは、青いそらをどこまでも飛んで行く。おまえは、曇(くも)ってうすぐらい日か、夜でなくちゃ、出て来ない。それから、おれのくちばしやつめを見ろ。そして、よくお前のとくらべてみるがいい。」

「たかさん。それはあんまり無理です。私(わたくし)の名前は私が勝手につけたのではありません。神さまから下さったのです。」

「いいや。おれの名なら、神さまからもらったのだといってもよかろうが、お前のは、いわば、［　A　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

と［　B　］と、両方から借りてあるんだ。さあ返せ。」

「たかさん。それは無理です。」

「無理じゃない。おれがいい名を教えてやろう。市蔵（いちぞう）というんだ。市蔵とな。いい名だろう。そこで、名前を変えるには、改名の*2披露（ひろう）というものをしないといけない。いいか。それはな、首へ市蔵と書いたふだをぶらさげて、私は以来市蔵と申しますと、*3口上（こうじょう）をいって、みんなの所をおじぎしてまわるのだ。」

「⑤そんなことはとても出来ません。」

「いいや。出来る。そうしろ。もしあさっての朝までに、お前がそうしなかったら、もうすぐ、つかみ殺すぞ。つかみ殺してしまうから、そう思え。おれはあさっての朝早く、鳥のうちを一軒（いっけん）ずつまわって、お前が来たかどうかを聞いてあるく。一軒でも来なかったという家があったら、⑥もう貴様（きさま）もその時がおしまいだぞ。」

「だってそれはあんまり無理じゃありませんか。そんなことをするくらいなら、私はもう死んだほうがましです。今すぐ殺してください。」

「まあ、よく、あとで考えてごらん。市蔵なんてそんなにわるい名じゃないよ。」たかは大きなはねを一杯（いっぱい）にひろげて、自分の巣のほうへ飛んで帰って行きました。

（宮沢賢治（みやざわけんじ）『よだかの星』）

＊１肩をいからせて＝いばって。

＊２披露＝発表。

＊３口上＝あいさつ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　[　] Ａ・Ｂにあてはまることばの組み合わせとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　Ａ　鳥　　Ｂ　そら
イ　Ａ　おれ　　Ｂ　夜
ウ　Ａ　神さま　　Ｂ　おれ
エ　Ａ　たか　　Ｂ　よだか

[　]

問二　――線①「よだか」について述べた次の文から、まちがっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア　羽虫をとってたべる。
イ　たかとは関係がない。
ウ　つめがするどい。
エ　かわせみの兄弟にあたる。

[　]

問三　――線②「どんなに弱い鳥でも、よだかをこわがるはずはなかったのです」とありますが、では、ほんとうのたかに対してはどうでしたか。文中から五十一字でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

[　　　　]～[　　　　]

問四　――線③「たかは、これをひじょうに気にかけて、いやがっていました」とありますが、たかはどんなことをいやがっていたのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　よだかが「たか」という名をもっていること
イ　よだかの空を飛ぶ様子がとても力強いこと
ウ　よだかのなきごえがとてもするどいこと
エ　よだかがたかのことをおそれないこと

[　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線④「まだお前は名前を変えないのか」とありますが、このときのたかの気持ちを説明した次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

たかとは［　　］がちがうにもかかわらず、いつまでも「たか」の名前をかたっている、［　　　　　］な［　　　］に、はらを立てている。

問六　――線⑤「そんなことはとても出来ません」とありますが、よだかが自分の名前に強い思い入れをもっていることがわかる一文を、ここより前の文中から書きぬきなさい。

［　　　　　　　　　　］

問七　――線⑥「もう貴様もその時がおしまいだぞ」とありますが、これは、だれがだれをどうするということですか。次の文の（　）にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

（　　　）が（　　　）を（　　　）ということ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　この文章の内容と合うものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　小鳥たちは、たかのこともよだかのこともおそれている。

イ　たかはよだかに無理なことをいって、わざとこまらせている。

ウ　よだかは、へんなことばかりいうたかにあきれている。

エ　よだかは、たかの無理な要求にこまり果てている。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講・文学的文章⑥

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あたりは、もううすくらくなっていました。よだかは巣から飛び出しました。雲が意地悪く光って、低くたれています。よだかはまるで雲とすれすれになって、音なくそらを飛びまわりました。

それからにわかに①よだかは口を大きくひらいて、はねをまっすぐに張って、まるで矢のようにそらをよこぎりました。小さな羽虫（はむし）が幾（いく）ひきも幾ひきもそののどにはいりました。

からだがつちにつくかつかないうちに、よだかはひらりとまたそらへはねあがりました。もう雲はねずみ色になり、向こうの山には山焼けの火がまっ赤（か）です。

よだかが思い切って飛ぶときは、②そらがまるで二つに切れたように思われます。③一ぴきのかぶと虫が、よだかののどにはいって、ひどくもがきました。よだかはすぐそれをのみこみましたが、その時何だかせなかがぞっとしたように思いました。

雲はもうまっくろく、東の方だけ山焼けの火が赤くうつって、恐（おそ）ろしいようです。よだかはむねがつかえたように思いながら、またそらへのぼりました。

④また一ぴきのかぶと虫が、よだかののどに、はいりました。そしてまるでよだかののどをひっかいてばたばたしました。よだかはそれを無理にのみこんでしまいましたが、その時、急に胸（むね）がどきっとして、よだかは大声をあげて泣き出しました。⑤泣きながらぐるぐるぐるぐるそらをめぐったのです。

（ああ、かぶと虫や、たくさんの羽虫が、毎晩僕（まいばんぼく）に殺される。そしてそのただ一つの僕がこんどはたかに殺される。それがこんなにつらいのだ。ああ、つ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

らい、つらい。僕はもう虫をたべないで飢えて死のう。いやその前にもうたかが僕を殺すだろう。いや、その前に、僕は遠くの遠くのそらの向こうに行ってしまおう。）

山焼けの火は、だんだん水のように流れてひろがり、雲も赤く燃えているようです。

よだかはまっすぐに、弟のかわせみの所へ飛んで行きました。きれいなかわせみも、ちょうど起きて遠くの山火事を見ていた所でした。そしてよだかの降りて来たのを見ていいました。

「兄さん。今晩は。何か急のご用ですか。」

「いいや、僕は今度遠い所へ行くからね、その前ちょっとお前にあいにきたよ。」

「兄さん。行っちゃいけませんよ。はちすずめもあんな遠くにいるんですし、僕ひとりぼっちになってしまうじゃありませんか。」

「それはね。どうも仕方ないのだ。もう今日は何もいわないでくれ。そしてお前もね、どうしてもとらなければならない時のほかはいたずらにお魚をとったりしないようにしてくれ。ね、さよなら。」

「兄さん。どうしたんです。⑥まあもうちょっとお待ちなさい。」

「いや、⑦いつまでいてもおんなじだ。はちすずめへ、あとでよろしくいってやってくれ。さよなら。もうあわないよ。さよなら。」

よだかは泣きながら自分のお家へ帰って参りました。みじかい夏の夜はもうあけかかっていました。

（宮沢賢治『よだかの星』）

問一　――線①「よだかは口を大きくひらいて」とありますが、何のためによだかは口をひらくのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　速く飛ぶため。
イ　こきゅうをするため。
ウ　大声で泣くため。
エ　えさをとるため。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　——線②「そらがまるで二つに切れたように思われます」とありますが、これはどんなことをたとえた表現ですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　よだかの羽ばたく音のするどさ

イ　よだかの羽ばたきののびやかさ

ウ　よだかの飛ぶ速さ

エ　よだかの飛ぶ高さ

□

問三　——線③「一ぴきのかぶと虫が、よだかののどにはいっ」たときと、——線④「また一ぴきのかぶと虫が、よだかののどに、はいっ」たときの、よだかの行動と気持ちについてまとめた次の表の（　）にあてはまることばを、それぞれ書きなさい。

③		④	
行動	気持ち	行動	気持ち
ひどく（　　）虫を、（　　）のみこんだ。	（　　）ように思った。	よだかののどをひっかいて（　　）虫を、（　　）のみこんだ。	（　　）した。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線⑤「泣きながらぐるぐるぐるぐるそらをめぐったのです」とありますが、このときのよだかの気持ちとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　羽虫やかぶと虫しか食べることができないのが情（なさ）けなく、残念だ。

イ　生きていくために、他の生き物を殺さなければならないことがつらい。

ウ　飢えて死ぬのならまだしも、たかに殺されるというのは、はらが立ってしかたがない。

エ　かぶと虫にひっかかれたのどが、痛（いた）くて痛くてたまらない。

□

問五　――線⑥「まあもうちょっとお待ちなさい」といったときのかわせみの気持ちを説明した次の文の□にあてはまることばを、文中から書きぬきなさい。

□□□□□□にはなりたくない。

問六　――線⑦「いつまでいてもおんなじだ」とはどういうことですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　どんなにはなれていても、ずっと兄弟は兄弟だということ

イ　たとえ近くにとどまったとしても、もうあうつもりはないということ

ウ　かわせみの家にいても、結局はたかに殺されるということ

エ　いくら引きとめられても、遠くに行く気は変わらないということ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「北の青いお星さま、あなたの所へどうか私を連れてって下さい。」

大熊星はしずかにいいました。

「余計なことを考えるものではない。①少し頭をひやして来なさい。そういうときは、氷山の浮いている海の中へ飛び込むか、近くに海がなかったら、氷をうかべたコップの水の中へ飛び込むのが＊1一等だ。」

よだかは□して、よろよろ落ちて、それからまた、四へんそらをめぐりました。そしてもう一度、東から今のぼった天の川の向こう岸のわしの星に叫びました。

「東の白いお星さま、どうか私をあなたの所へ連れてって下さい。焼けて死んでもかまいません。」

わしは＊2大風にいいました。

「いいや、とてもとても、話にも何にもならん。星になるには、それ相応の身分でなくちゃいかん。またよほど金もいるのだ。」

②よだかはもうすっかり力を落としてしまって、はねを閉じて、地に落ちて行きました。そしてもう＊3一尺で地面にその弱い足がつくというとき、よだかはにわかにのろしのようにそらへとびあがりました。そらのなかほどへ来て、よだかはまるでわしがくまを襲うときするように、ぶるっとからだをゆすって毛をさかだてました。

それからキシキシキシキシキシッと高く高く叫びました。その声はまるでたかでした。野原や林にねむっていたほかのとりは、みんな目をさまして、ぶるぶるふるえながら、③いぶかしそうに星ぞらを見あげました。

よだかは、どこまでも、どこまでも、まっすぐにそらへのぼって行きました。もう山焼けの火はたばこのすいがらのくらいにしか見えません。よだかはのぼってのぼって行きました。

寒さにいきはむねに白くこおりました。空気がうすくなったために、はねをそれはそれはせわしくう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ごかさなければなりませんでした。

それだのに、星の大きさは、さっきと少しも変わりません。つくいきはふいご＊４のようです。寒さや霜(しも)がまるで剣(けん)のようによだかを刺(さ)しました。よだかははねがすっかりしびれてしまいました。そしてなみだぐんだ目をあげてもう一ぺんそらを見ました。そうです。これがよだかの最後でした。もうよだかは落ちているのか、のぼっているのか、さかさになっているのか、上を向いているのかも、わかりませんでした。ただこころもちはやすらかに、その血のついた大きなくちばしは、横にまがってはいましたが、たしかに④少しわらっておりました。

それからしばらくたってよだかははっきりまなこをひらきました。そして自分のからだがいま燐(りん)の火のような青い美しい光になって、しずかに燃(も)えているのを見ました。

すぐとなりは、カシオピア座(ざ)でした。天の川の青じろいひかりが、すぐうしろになっていました。

そして⑤よだかの星は燃えつづけました。いつまでもいつまでも燃えつづけました。

今でもまだ燃えています。

（宮沢賢治(みやざわけんじ)『よだかの星』）

＊１一等だ＝一番よい。
＊２大風に＝いばった様子で。
＊３一尺＝約三〇・三センチメートル。
＊４ふいご＝火を起こすために風を送る道具。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　□にあてはまることばとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　びっくり　**イ**　がっかり
ウ　むっと　**エ**　さっぱり

□

問二　――線①「少し頭をひやして来なさい」の意味として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　もっと元気を出しなさい。
イ　もっと寒さになれておきなさい。
ウ　もっと冷静になりなさい。
エ　もっと行動でしめしなさい。

□

問三　――線②「よだかはもうすっかり力を落としてしまって」とありますが、このよだかが気持ちを切りかえて、気力をふりしぼっている様子がわかることばを三つ、二十二字、四十字、二十一字で、文中からそれぞれさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。（。はふくみません）

□□□□～□□□□
□□□□～□□□□
□□□□～□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「いぶかしそうに星ぞらを見あげました」とありますが、とりたちはどんなことを不思議に思っているのですか。とりたちの気持ちとして、最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　どうしてよだかはあんなに無理なことをお願いするのだろう。

イ　どうしてこんな夜にたかが飛んでいるのだろう。

ウ　どうしてよだかが自分たちをおそおうとするのだろう。

エ　どうしてよだかがたかのような声を出すのだろう。

□

問五　――線④「少しわらっておりました」とありますが、このときのよだかの気持ちを説明したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　目的を果たせず死んでしまうことに心残りはあるものの、それなりに満足した気持ちでいる。

イ　とても星にはなれそうもない自分のことを仕方がないと、あきらめる気持ちでいる。

ウ　そばへ連れて行ってくれない星の心を理解できたことで、安らかな気持ちでいる。

エ　遠い遠い星へのあこがれを持ちつづけながら、すみきった気持ちでいる。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　――線⑤「よだかの星は燃えつづけました」とありますが、よだかの星について説明した次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

［　　　　　　］のすぐとなり、［　　　］の前で、燐の火のように青く美しく光りながら、［　　　　］燃えている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講・説明的文章⑤

◆正確な読み

説明されている内容を正しく読み取るには、次のような注意が必要です。

(1) 事実と意見を読み分ける。

筆者が見聞きした事実と、それに対する筆者の意見・感想・結論とを区別して読むことで、筆者の伝えようとしていることがはっきりします。

① 事実を述べた文

筆者が意見や感想をもつきっかけとなったことや、根拠、例などを述べています。「だ」「です」など、はっきり述べたり、「だそうだ」など、人から聞いた話として述べたりします。

② 筆者の意見やものの見方を述べた文

事実などをもとにして、筆者の考えを述べています。「思う」「考える」など、考えであることを示して述べるほかに、「～にちがいない」「～だろう」「～かもしれない」など、筆者の判断をふくんだ表現になっている場合もあります。

(2) ことばの意味を正しく読み取る。

意味のむずかしいことばや特別な意味で使われていることばには注意が必要です。そのようなことばの説明が前後にある場合、それを参考にして意味をとらえるとよいでしょう。

(3) 指示語の内容を正確に読み取る。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

　生命のいちばんの特徴は、外部から栄養分を食べ物としてとり入れて、それを材料とし体をつくったり、そこから体を動かすエネルギーをとり出したり、いらなくなったものを体外に捨てるというはたらきがあることです。これを①代謝といい、そのはたらきは、細胞という外部とは膜でへだてられた部分がになっています。細胞の中はいつも同じ状態が保たれ、外の世界と関係なく代謝活動を続けているのです。

　このような代謝活動を行っていないものを無生物といい、たとえば、雲や川、小石や岩、人間がつくった自動車や機械や道具などがあげられます。

　生命のもう一つの特徴は、増殖するという現象で、生物の個体や細胞の数を増やすことです。それによって祖父母から親、そして子どもから孫へと子孫がつながっていくことになります。

　それ自身で代謝する生命は、38億年前に生まれたと考えられていますが、②どのようにして生まれたのかはまだよくわかっていません。

　細胞の膜は、タンパク質＊1でできています。タンパク質は約20種類あるアミノ酸＊2がたくさんつらなってできています。だから、生命がどのように誕生したのかという謎は、①まず［　Ａ　］、②［　Ｂ　］、③［　Ｃ　］、というひとつづきのことがらを調べて解決しなければなりません。

　地球が生まれたころは、煮えたぎる海、うち続く火山の爆発、はげしい稲光、太陽からの強い光など、現在とはちがった荒々しい環境であったと思われます。そんな中、海水中でさまざまな原子＊3や分子＊4の反応がおこっていろいろなアミノ酸ができ、それらからタンパク質がつくられ細胞になっていったのでしょう。

　現在では、いろいろな分子やイオン＊5をとかしている高温の水溶液に太陽のような光を当てることができる実験室でアミノ酸をつくり、実際にどのように反応が進んでいったかを研究しています。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生命をになっている細胞は、時間がたつとともにゆっくりとはたらきがおとろえていきます。細胞によぶんな物質がくっついたり、不要になったものが捨てられずにたまっていったりするからです。機械が古くなって部品が壊れたり、ゴミがたまって動きにくくなったりするのと似ています。

③そのため、細胞の物質はたえず入れ替わっているのですが、そのうち入れ替わる原子が足りなくなったり、くっつかなくなったりします。新しい物質を用意する細胞自身がおとろえていくからです。

このような④代謝のはたらきが弱まると、やがて細胞は死んでしまいます。動物なら血液を送る心臓、植物なら水を吸う根の細胞など、生命体としてもっとも重要な部分の細胞が役割を果たさなくなると、一つの生命体として死をむかえます。

（池内了『命はどのようにして生まれたの？』）

＊１タンパク質＝動植物の体を作る重要な物質。
＊２アミノ酸＝タンパク質のもととなる物質。
＊３原子＝物質を組み立てるもととなる小さなつぶ。
＊４分子＝原子がいくつか集まってできるもの。
＊５イオン＝電気をおびた原子。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「代謝」とはどんなはたらきのことですか。それを具体的に説明したことばを文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問二　――線②「どのようにして生まれたのかはまだよくわかっていません」とありますが、生命がどのように生まれたかについて、具体的にはどのように調べていますか。それが書かれている段落(だんらく)の初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問三　□Ａ～Ｃにあてはまることばとして最もよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　それがどのように組み合わされてタンパク質になったのか

イ　アミノ酸が原子からどのようにしてできたのか

ウ　そのタンパク質から細胞がどのようにして形づくられたのか

Ａ□　Ｂ□　Ｃ□

問四　――線③「そのため」とありますが、なんのためですか。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線④「代謝のはたらきが弱まると、やがて細胞は死んでしまいます」とありますが、この一連のしくみを説明した次の［　］にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・細胞に［　　　　　　］がくっついたり、［　　　　　　　］［　］がたまったりする。

↓

・物質を入れ替えて同じ状態を保つ。

↓

・新しい物質を用意する［　　　　］がおとろえる。

↓

・入れ替わる［　　］が足りなくなったり、くっつかなくなったりする。

↓

・細胞が死ぬ。

問六　文中から、筆者の推測（すいそく）が書かれたひと続きの二文をさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

［　　　　］～［　　　　］

問七　この文章で書かれている生命の特徴を二つ、次のようにまとめました。［　］にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・［　　　　］を行っている。

・個体や細胞などが［　　］する。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・説明的文章⑥

一 題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①生命は38億年という長い時間をかけて進化してきました。最初はただ②一種類の生命から出発し、それを祖先(そせん)として、「生物を分類するときの基本(きほん)的な単位」であるいろいろな「種」に分かれてきたのです。

その中で、あるものは動かずに栄養分をつくる能力をもった植物になりました。またあるものは、動き回って栄養分を集める動物になりました。

動物であっても、長い年月の進化の結果、多種多様な種が生まれ、殻(から)をかぶった昆虫(こんちゅう)や背骨(せぼね)をもった魚類などになりました。その魚類からはカエルなどの両生類が生まれ、ヘビなどのハ虫類、トリケラトプスのような恐竜(きょうりゅう)類、ハトのような鳥類、ヒトや牛のようなホ乳(にゅう)類へと進化してきたのです。

③いずれも、祖先から分かれるときに少し変わった能力を獲得(かくとく)し、それが自然環境(かんきょう)によく合っていると栄え、自然環境に合わなかったものは絶滅(ぜつめつ)しました。こうして、木が次々と枝分(えだわ)かれするように生物の種が増え、複雑な体をもったものが生まれてきたのです。

④ヒトはサルから生まれたといわれていますが、現代のサルからヒトが生まれたわけではありません。サルとヒトの共通の祖先がいて、約600万年前、その祖先からサルとヒトに分かれたのです。だから、はじめ人は4本足だったのですが、2本足で立って歩けると手を使えるようになり、食べ物が集めやすいとか、道具をつくることができるなど、生きていく上で他の動物とは異(こと)なる生活の仕方を身につけました。

ヒトは生物として見た場合には何ら特別な存在(そんざい)で

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はなく、単純な祖先から枝分かれして生まれ、生き残ってきた動物の一種なのです。20万年前に現れ2万数千年前に一人もいなくなったネアンデルタール人のように、生き残れずに絶滅したヒトの種も多くありました。

　ヒトが他の動物と異なるのは、脳の発達によって、考えたり、予想したり、意志を伝達し合ったりするなかで、生活に役立つものをつくり、文化を生みだし伝えてきたことです。ヒトは、⑤それによって大いに繁栄し、きびしい自然を生き抜くことができたのです。そして⑥動物としてのヒトから、知恵をもつ人になったのです。

　人類の祖先は、約600万年前にアフリカに現れたと考えられています。2本足で立ち、森を出て草原にくらすようになったのです（どのようにして2本足で立って歩けるようになったかについては、いろいろな説があります）。2本足で立つことによって両手を自由に使えるようになり、いろんな手作業をすることができるようになりました。草原には森林とちがう動物や植物が生息し、⑦それらを食糧として獲得する方法を身につけました。手の解放はヒトが進化してゆく大きなきっかけとなったのです。

　まず最初に、解放された両手を使って道具を作りました。骨・角や石を細工したものです。なかでも約200万年前に現れたホモ・ハビルス（器用なヒトという意味です）は進んだ石器を作り、モリ*のようなものを使って狩りをし、包丁のようなもので植物を採集するようになりました。

　約150万年前に現れた⑧ホモ・エレクトス（立つヒト）は、生まれ故郷のアフリカを出て世界中にちらばりました。人口が増えたため新しい土地へ進出するようになったのでしょう。アジアに来たのが北京原人やジャワ原人です。

（池内了『命はどのようにして生まれたの？』）

*モリ＝クジラや魚をとるための先のとがった漁具。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「生命は38億年という長い時間をかけて進化してきました」とありますが、ヒトはどのように進化してきましたか。次の表のA～Cにあてはまることばをそれぞれ書きなさい。

いつ	できごと
A	人類の祖先がアフリカに出現した。
約200万年前	（B　　　　）が現れた。
C	ホモ・エレクトスが現れた。

問二　――線②「ただ一種類の生命から出発し……いろいろな『種』に分かれてきた」とありますが、その様子をたとえを使って説明している部分を文中から書きぬきなさい。

□

問三　――線③「いずれも、祖先から分かれるときに少し変わった能力を獲得し」とありますが、ヒトは、２本足で立って歩く能力を獲得してどんなことができるようになったのですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□を自由に使えるようになり、□□□を集めたり、□□をつくったりすることができるようになった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「ヒトはサルから生まれたといわれています」とありますが、事実はどうであると筆者は説明していますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　サルを祖先としてヒトが生まれた。
イ　ヒトを祖先としてサルが生まれた。
ウ　サルとヒトは別々の祖先から生まれた。
エ　サルとヒトは同じ祖先から生まれた。

□

問五　――線⑤「それ」が指している部分を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問六　――線⑥「動物としてのヒト」とありますが、ヒトを生物という面から説明している一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問七　――線⑦「それらを食糧として獲得する方法を身につけました」とありますが、たとえばどんな方法ですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・□□のようなものを使って狩りをする方法。
・□□のようなもので植物を採集する方法。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　――線⑧「ホモ・エレクトス（立つヒト）は、生まれ故郷のアフリカを出て世界中にちらばりました」とありますが、筆者はどんなことが原因だと考えていますか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①ホモ・エレクトスの最大の発明は火を使うようになったことです。火を使えば、恐ろしい猛獣を近寄らせず、夜も昼間と同じように明るく照らし出し、冬は暖かく過ごせ、動物の肉や植物を料理して長持ちさせ味もおいしくできます。火を利用できるようになったことは、のちに土を焼いて丈夫な土器とし、砂からガラスを取り出し、岩から銅や鉄を作り出すというような技術へと発展していきました。火の使用はヒトの可能性を大きく広げたといえるでしょう。

ホモ・エレクトスは絶滅してしまいました。私たちの直接の祖先は、約20万年前にアフリカに現れた②ホモ・サピエンス（かしこいヒト）です。脳が大きくなり、知能の力は現代の私たちとかわりません。

約６万年前にアフリカを出て世界中の島々のすみずみまで生活場所を広げ、それぞれの壁画を残し、ネックレスを作って飾るなど文化を生み出すとともに、花を飾って人を埋葬するような宗教心が芽生えました。

やがて、コメやムギやジャガイモやトウモロコシなど、栄養分を多くふくむ主食とよばれる作物を栽培するようになりました。農業を開始したのです。およそ一万年前で、人びとは同じ場所に住み、集団で生きるという、現代につながる生き方をするようになったのです。

③動物は単独で生きることはできません。多くのものは群れをつくって生活していますが、単独でたがいに離れてくらしているものでも最低、子孫を残すためにオスとメスが出会う必要があるからです。そのため、④オスはメスの気をひくために合図を送らねばならず、鳥や熱帯魚のような目立つ色、ホタルやクラゲのような光、カエルやセミや鳥のような鳴き声を使うようになりました。虫はフェロモン*というにおいを使って出会う努力をしています。

ヒトの場合は、結婚相手を探すだけでなく、猛獣に襲われないために集団でくらしたり、みんなで狩

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

りをしたりするようになりました。多くの人が集まると、それぞれが気持ちを伝え合わねばうまく行動できません。ものを考えるのにも言葉が必要です。⑤そのために、ものに名をつけたり、気持ちをあらわしたり、遠くに合図を送ったりするため、言葉を見つけ、話ができるようになったのだと思われます。

しかし、人が話をできるようになるのは、そう簡(かん)単(たん)ではなかったと思われます。体のしくみとして⑥二つのことが揃(そろ)わねばならないからです。一つは、いろいろな声音(こわね)が出るように喉(のど)の形が変わらねばならないことです。

サルは簡単な音声をだせますが、ヒトのように複雑な言葉にはなりません。それは、ヒトとサルの喉の構造がちがうためです。サルが言葉を話すためには、喉の形が変わらないとダメなのです。

もう一つは、言葉を覚え、使いこなすために脳が大きくならねばなりません。サルのような小さい脳では、簡単な合図は送れても、複雑な意志を思い浮(う)かべ伝えることはできないのです。

ヒトがいつ話せるようになったのかはわかっていません。最初は簡単な合図だけであったのでしょうが、喉の形が変わり、脳が大きくなり、生活や個人間の関係が複雑になっていくにつれて言葉も豊かになりました。そして脳をつかって言葉の組み合わせや規則(きそく)（文法）も決めていきました。□を通じて人は大きく発展することができたのです。

（池内了(いけうちさとる)『命はどのようにして生まれたの？』）

＊フェロモン＝動物が体から分泌(ぶんぴつ)して、他の個体に影(えい)響(きょう)を与(あた)える物質。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ホモ・エレクトスの最大の発明は火を使うようになったことです」とありますが、ヒトが火を使うようになったことを筆者はどう評価していますか。一文でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問二　――線②「ホモ・サピエンス」の特徴（とくちょう）をまとめた次の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・約□□□前に、□□□□に出現した。

・□□の力は現代人とかわらない。

・□□やネックレスなど、□□を生み出した。

・人を埋葬するような□□□が芽生えた。

・作物を栽培し、□□を開始した。

問三　――線③「動物は単独で生きることはできません」とありますが、それはなぜですか。次の〔　〕にあてはまることばを書きなさい。

単独では〔　　　　〕から。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「オスはメスの気をひくために合図を送らねばならず」とありますが、動物たちの合図にはどんなものがありますか。文中から三字以内のことばを四つ書きぬきなさい。

問五　――線⑤「そのため」とありますが、何のためですか。よいものを次のうちから二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　猛獣に襲われない集団を作るため

イ　ものを考えるため

ウ　狩りなどに多くの人を集めるため

エ　狩りをしてくらすため

オ　多くの人がそれぞれの気持ちを伝え合うため

問六　――線⑥「二つのことが揃わねばならない」とありますが、「二つのこと」とはどんなことですか。それぞれ書きなさい。

問七　□にあてはまることばを文中から二字で書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講・文学的文章⑦

◆主題をとらえる

主題とは、物語文の文章全体を通して、作者が最も伝えたかった内容です。したがって、物語文では、主題をとらえることが読み取りの大きな目的となります。主題をとらえるには、これまでに学習したことをすべて活用して、作者の思いにせまらなければなりませんが、特に次のような点に注意して読みましょう。

(1) 場面・登場人物をとらえる

主題をとらえるためには、まず場面設定を読み取っておく必要があります。特に人物どうしの関係は、主題と深くかかわっている場合が多いので、しっかりつかむようにします。

(2) 心情をとらえる

物語においては、登場人物の心情はとても大きな要素です。何があったときにどんな気持ちになったかをとらえることが大切です。

(3) 心情の変化をとらえる

場面が進むとともに、登場人物の心情も変化します。この心情の変化は物語の展開と密接にかかわっているので、しっかり読み取ることが必要です。どんな心情からどんな心情に変化したのか、何がきっかけだったのか、をていねいに読み取ります。特に大きな変化がある場合は、その変化自体が物語の主題である場合もあります。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

三上くんは、手紙を何通か少年に書き送っていた。引っ越(こ)して間もない四月に届(とど)いた手紙には、〈今度の学校は、あまりおもしろくありません〉とあった。〈トシユキや南小の友だちのことを、しょっちゅう思いだします〉とも書いていた。手紙の締(し)めくくりは〈南小四年一組、＊フォーエバー！〉だった。

五月の手紙には、Ｓ市のことが書いてあった。〈デパートがたくさんあって、日曜日は買い物に行くのが楽しみです〉〈アーケードの商店街もあります〉〈市営球場ではプロ野球の試合もあるというので、いまから楽しみです〉〈今度、学校の社会科見学で新聞社の支局に行きます〉〈Ｓ市のほうが都会です〉

少年が住んでいるのは「町」だった。Ｓ市は、十万人以上の人口がある、県内でも大きいほうの「市」――県の職員(しょくいん)だった三上くんのお父さんは出世してＳ市に転勤(てんきん)になったんだと、町役場に勤(つと)める少年のお父さんは少しうらやましそうに言っていた。

五月に届いた別の手紙には、新しい学校のことが書いてあった。〈けっこうおもしろい友だちもいます〉〈こっちはクラスの数も多いので、運動会はすごくもり上がるそうです〉〈足の速い子がたくさんいるので、リレーの選手にはなれないかもしれません〉〈トシユキと同じ名前の（みょう字はちがいます）友だちがいて、トシユキのことを教えてあげると、「今度会ってみたい」と言っていました〉〈こっちは男子と女子がわりと仲がよくて、恋人(こいびと)になってる二人もいます〉〈前の学校より勉強の進み方が速いので、宿題をやるのが大変です〉

それを読んだとき、少年はちょっとムッとした。①<u>〈こっち〉や〈前の学校〉という言い方がおもしろくなかった。</u>自分と同じトシユキという名前の奴(やつ)のことを、どうせたいしたことないよ、と決めつけた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

手紙の返事に、〈約束どおり、夏休みになったら遊びに行きます〉と書いた。南小の友だちの様子を一人ずつこまかく教えてやって、最後に②〈南小も五年生になったら急に勉強が難しくなりました〉と書いた。

③六月の手紙は、葉書だった。〈遊びに来るのを楽しみにしています〉とあった。

手紙のやり取りは、そこまでだった。S市を訪ねる段取りは、夏休み前にお母さんとおばさんに決めてもらった。「自分で電話すればいいのに」とお母さんはあきれ顔になって言ったが、少年は「いいよ、お母さんが決めて」と電話番号のメモを渡しただけで、自分では受話器を取ろうとしなかった。

「もしも断られたら嫌だから？」とお母さんはいたずらっぽい口調で訊いた。

「違うよ」と少年はすぐさま首を横に振った。

「じゃあ、アレでしょ、三上くんとしゃべるのが恥ずかしいんでしょ」

「違うってば。いいから早く電話してよ」

三上くんの家に電話したお母さんは、おばさんと長話をして、「そうなんですよ、トシユキが、もう、とにかく三上くんに会いたい会いたいって言ってるんで……」と笑った。頬を赤くした少年は、電話を終えたお母さんに「違うよ、そんなこと言ってないよ、嘘つかないでよ」と抗議した。でも、お母さんにきょとんとした顔で「でも、会いたいから遊びに行くんでしょ？」と訊かれると、④なにも答えられなかった。

（重松清『南小、フォーエバー』）

＊フォーエバー＝英語で「永遠に」という意味。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　トシユキと三上くんの関係をまとめた次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

トシユキと三上くんは以前［　　　］の同級生だったが、三上くんが［　　　］に引っ越して、はなればなれになった。

問二　――線①「〈こっち〉や〈前の学校〉という言い方がおもしろくなかった」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　四月の手紙では、〈こっち〉や〈前の学校〉のことを何と言っていますか。

こっち［　　　］

前の学校［　　　］

(2)　その言い方がおもしろくないのはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　S市の都会ぶりを見せつけられたように感じたから。

イ　三上くんがS市の人間になってしまったように感じたから。

ウ　トシユキたちの町をばかにされたように感じたから。

エ　三上くんがトシユキたちの町をわすれてしまっているように感じたから。

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線②「南小も……難しくなりました」とありますが、このことばにはトシユキのどんな気持ちがこめられていますか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□（3字）になったから勉強が難しくなっただけで、S市の学校のほうが□□（2字）わけではないと、三上くんに反発したい気持ち。□□□□□□□（7字）

問四　――線③「六月の手紙は、葉書だった」とありますが、このことからどんなことがわかりますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　トシユキの様子が気になっていること

イ　トシユキの返事が気に入らなかったこと

ウ　トシユキに会えないつらさがとても大きいこと

エ　トシユキに知らせたいことが少なくなったこと

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線④「なにも答えられなかった」とありますが、このときのトシユキの気持ちとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　まったく見当外れなので、あきれてものも言えない。

イ　言われた通りなので、言い返せない。

ウ　考えもしないことだったので、返事のしようがない。

エ　会いたくはないが、正直に言うわけにもいかない。

□

問六　この場面でえがかれていることの中心として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　トシユキと三上くんの気持ちのすれちがいのきざし

イ　子ども同士のつき合いから親もまきこんだつき合いへの変化

ウ　市と町のくらしのちがい

エ　トシユキと三上くんの固い友情

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講・文学的文章⑧

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

三上くんの家は県の職員住宅だった。前に住んでいた家よりも広い。まだ三上くんは帰っていなかったので、おばさんが「ケイジには内緒よ」と勉強部屋を見せてくれた。

机や本棚は昔と同じだったが、机に出しっぱなしだった算数の教科書は、南小で使っているのとは違うものだった。壁に貼った時間割表も違う。月曜日の一時間目から算数なんてかわいそーっ、と笑った。南小では、月曜日の一時間目はどのクラスでも学級活動の時間だ。南小のほうがいい。ずっといい。

①部屋に入ったときに、すぐに気づいたことがある。

三上くんが引っ越す前に、仲良しの友だちみんなと写真を撮った。すぐにプリントをして、みんなでお金を出し合って買った写真立てに入れて三上くんに渡した。

三上くんはそのプレゼントをすごく喜んでくれて、「部屋に飾っとくから」と言った。少年たちも「そうだよ、ずーっと一緒だから」「もし新しい学校でいじめられても、俺たちがついてるから」とうれしそうに言った。

でも、部屋のどこにも写真はない。何度見回してても、同じ。だから――写真なんて最初から探さなかったんだ、ということにした。

「トシくん、カルピスつくったわよお」

台所にいるおばさんに呼ばれて部屋を出る前、②蛍光灯のスイッチの紐の先に、軽く一発、＊右フックをぶつけた。

紐は思いのほか大きく揺れ動いて、ろくに狙いをつけずに放った二発目のパンチは、空振りになって

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

しまった。

正午を回った頃、やっと三上くんが帰ってきた。「おーっ、ひさしぶりぃ！」と笑顔で声をかける。息が荒い。顔が汗びっしょりになっている。自転車をとばして帰ってきた――早く会うために帰ってきてくれた、のだろうか。

③一瞬ふわっとゆるんだ少年の頬は、三上くんと言葉を交わす間もなく、しぼんだ。

三上くんはおばさんに「お昼ごはん、なんでもいいから、早く食べれるものにして」と言ったのだ。④「一時から五組と試合することになったから」

おばさんは台所から顔を出して、「ケイジ、なに言ってんの」と怒った。「トシくんと遊ぶんでしょ、今日は」

三上くんは、あっ、という顔になった。あわてて「わかってるって、そんなのわかってるって」と繰り返したが、あせった目があちこちに動いた。けろっと忘れていたのだろう。ソフトボールの練習中に急に「試合しよう」という話になって、「じゃあ、俺も行く」と安請け合いしてしまったのだろう、どうせ。

「ケイジ、あんたねえ、せっかくトシくんがわざわざ遊びに来てくれたのに、迎えもお母さんに行かせて、ずーっと待ってもらって……もうちょっと考えなさい」

しょんぼりと肩を落として「はーい……」と応える三上くんよりも、少年のほうがうつむく角度は深かった。⑤おばさんが味方についてくれたのが、うれしくて、悔しくて、恥ずかしくて、悲しい。

（重松清『南小、フォーエバー』）

＊フック＝ひじを曲げて横から打つパンチ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「部屋に入ったときに、すぐに気づいたことがある」について、次の⑴・⑵に答えなさい。

⑴　どんなことに気づいたのですか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

□□□□□□□□と撮った写真が部屋にないこと。

⑵　「すぐに気づいた」ということから、トシユキ（少年）についてどんなことがわかりますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　写真を友情のしるしとして大事に思っていること

イ　三上くんの部屋に初めて一人で入ったこと

ウ　三上くんがいじめられていないか気になっていたこと

エ　三上くんと同じ学校に通えないことを残念に思っていること

□

問二　――線②「蛍光灯のスイッチの紐の先に、軽く一発、右フックをぶつけた」とありますが、ここに表れているトシユキの気持ちとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　おばさんが親切にしてくれることへの感謝(かんしゃ)と喜び

イ　三上くんにだまって部屋に入った後ろめたさと興奮(こうふん)

ウ　三上くんが以前と同じでないと感じた動揺(どうよう)といらだち

エ　なかなか帰ってこない三上くんに対する不満といかり

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線③「一瞬ふわっとゆるんだ……しぼんだ」とありますが、このときのトシユキの気持ちをまとめた次の文の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬき、〔　〕にあてはまることばをそれぞれ考えて書きなさい。

自分に早く□□ために急いで帰ってきてくれたのかと〔　　〕思ったが、早く□□□□□を食べて試合に出かけるためだとわかり、〔　　〕なった。

問四　――線④「一時から五組と試合することになった」とありますが、これはトシユキにとってどんなことを意味していますか。

問五　――線⑤「おばさんが味方についてくれたのが……悲しい」とありますが、このときのトシユキの気持ちを説明したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　おばさんがたしなめなければならないほど三上くんがいやな性格になっていることにショックを受けた。

イ　おばさんが気をつかって間に入ってくれるほど三上くんと遠い間がらになったことを実感した。

ウ　おばさんがトシユキの味方になったことで、三上くんと敵対関係にあることを痛感（つうかん）した。

エ　おばさんが味方したくなるほど自分が元気を失っていることを思い知らされた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔トシユキ（少年）は、三上くんの誘いでソフトボールの試合に来ていた。〕

「いま、俺ら九人いるから……トシ、ピンチヒッターでいい？　途中で、絶対に出番つくってやるから」

泣きたくなった。来るんじゃなかった、と思った。

「……やっぱり、帰るから」

少年は言った。校門前のバス停から駅行きのバスが出ているのは、さっき確かめておいた。

「えぇーっ？　なんで？」と驚く三上くんに「バイバイ」と言って、最後にがんばって笑って、ダッシュで校門に向かった。

三上くんは追いかけてこなかった。

次のバスは五分後だった。ベンチに座って、ぼんやりと足元を見つめていると、①グラウンドのほうから歓声が聞こえてきて、また目に涙がにじみそうになった。

予定よりもずっと早い列車で帰ることになる。まだ明るいうちに家に帰り着けるだろう。急いで出かければ、南小のグラウンドで遊んでいる友だちにも会えるかもしれない。早く帰りたい。みんなと遊びたい。もう「三上、元気かなあ……」なんて言わない。これからは、ずっと。

②そろそろだな、と膝に載せていたリュックサックを背負って立ち上がったら、「トシ！」と校門から三上くんが駆けてきた。

③「悪い悪い、ごめんなあ……ほんと、ごめん、守備のときは抜けられないから」

一回表の五組の攻撃が終わると、全力疾走してきたのだという。少しでも時間がとれるよう、ふだんは三番の打順も九番に下げてもらった。

「トシのこと忘れてたわけじゃないんだけど、やっぱり、こっちもこっちでいろいろあるから」

「……わかってるから、いいって」

「バスが来るまで一緒にいるから」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「いいよ、そんなの悪いから」

「でも……せっかく来てくれたんだし」

三上くんはグローブを二つ持ってきていた。ボールもあった。「ちょっとだけでも、キャッチボールしよう」と笑って、自分が使っていたグローブを少年に差し出した。

少年が黙(だま)って受け取ると、三上くんは照れくさそうに笑った。少年も目を伏(ふ)せて笑い返す。

小走りに距離(きょり)をとった三上くんが、山なりのボールを放った。それを軽くキャッチしたときに、気づいた。

〈南小4年1組フォーエバー!〉

グローブの甲(こう)に、サインペンで書いてあった。転校したての頃(ころ)に書いたのだろう、④黒い文字は薄(うす)れかかっていた。

へへっ、と少年は笑う。うれしいのか悲しいのかよくわからなかったが、自然と笑みが浮(う)かんだ。

「なに?」とけげんそうに訊(き)く三上くんにはなにも答えず、ボールを投げ返した。

三上くんが「バス、来たぞ」と言った。振(ふ)り向くと、道路の先のほうにバスの車体が小さく見えた。

⑤「ラスト一球」――さっきより少し強いボールを、少年は右手をグローブに添(そ)えて捕(と)った。

〈南小4年1組フォーエバー!〉の文字の上を右手の親指でなぞると、うっすらと積もっていた砂埃(すなぼこり)が拭(ぬぐ)い取られて、少しだけ、文字が鮮(あざ)やかになった。

(重松清(しげまつきよし)『南小、フォーエバー』)

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「グラウンドのほうから歓声が聞こえてきて、また目に涙がにじみそうになった」とありますが、このときのトシユキの気持ちを説明したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　自分は三上くんにすっかりきらわれてしまったのだ。

イ　三上くんは南小のことなどまったく覚えてはいないのだ。

ウ　三上くんは自分とはかかわりのないところにいるのだ。

エ　自分は三上くんのことを何も知ってはいなかったのだ。

□

問二　――線②「そろそろだな」とありますが、何がそろそろなのですか。

問三　――線③「悪い悪い」とありますが、このような三上くんの思いが行動に表れている部分を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問四　――線④「黒い文字は薄れかかっていた」とありますが、黒い文字とともに何が薄れていると言えますか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線⑤「『ラスト一球』……捕った」とありますが、このときのトシユキの気持ちを説明したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　三上くんが自分と遊んでくれるのはこれで最後だと言われた気がして、落ちこんでいる。

イ　三上くんのえんりょのないボールに、二人の気持ちのすれちがいを感じている。

ウ　三上くんがもうキャッチボールに興味(きょうみ)がないことがわかり、がっかりしている。

エ　三上くんの気持ちのこもったボールから、二人の友情を感じ取っている。

□

問六　トシユキが、ばく然とした思いをかかえながらも、ある種の満足感を得ていることがわかる表現を文中から十字で書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□

問七　この文章の主題は何ですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　過去にこだわる気持ちを乗りこえる少年の心の成長

イ　はなれた場所にいる人間が心を通いあわせることの難(むずか)しさ

ウ　決して永遠ではあり得ない人の気持ちの移ろい

エ　気持ちのすれちがいから生じた少年の心の迷い

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講・説明的文章⑦

◆要旨をとらえる

説明的文章を読む大きな目的は、要旨を読み取ることにあります。何かについて説明した文章では、説明の中心的内容を、筆者の考えを述べた文章では、その考えの中心的内容をとらえます。

(1) 段落の内容を確認する。

全体の要旨をとらえるためには、各部分での要旨をとらえることは欠かせません。

(2) 文章の構成を確認する。

文章全体の構成を明らかにすることで、筆者が特にどの段落の内容を述べたいのかがわかります。

説明文の多くは、次のような型にあてはまります。

（序論＝話題を示す。本論＝説明。結論＝言いたいこと。）

① 序論—本論—結論
② 結論—本論
③ 結論—本論—結論

(3) 正確に読み取る。

事実と意見の区別、ことばの意味、指示語の内容に注意します。

(4) 文章全体の要旨をとらえる。

(1)〜(3)に加え、文章全体のキーワード、キーセンテンスや文章の題名を参考に要旨をとらえます。結論を述べた段落を基にして、自分で要旨をまとめるのもよいでしょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

生まれたばかりの子犬はお母さん犬の母乳をたくさん飲んで、体に必要な栄養や病気にならないための*免疫抗体を受け取り、ぐんぐん大きくなっていきます。

お母さん犬に甘えたり兄弟犬と遊んだりけんかをしたりしながら、①犬の社会に必要なルールを学びます。子犬が悪いことや危ないことをすると、ふだんはやさしいお母さん犬が厳しく叱ります。そして子犬は何が危険なのか、いたずらはどこまで許されるのか、などを学んでいくのです。人間と同じですね。

そして人間とどう接するかもこの時期に知ります。生まれてからの数カ月は、犬にとってたいへん重要な時間なのです。

［A］日本の法律では、生まれてから８週間以上たたないと犬を売り買いしてはいけないことになっています。お母さん犬からの免疫抗体の効果がこの時期に切れるので、最初のワクチン注射を打つのもこの時期。［B］犬用のドライフードもこの頃から食べられるようになります。

犬も猫も動物はみな、子どものときは本当にかわいいものです。

ぬいぐるみのように丸くて、コロコロと元気に遊ぶかわいい姿を見て、子犬を飼いたいと思ったら、まずよく考えてみましょう。

②きみは、この子犬が大人になって、死ぬまできちんと面倒をみることができますか？

犬は人間よりずっと早く年をとります。

大型犬の場合、生まれてから最初の１年で人間の12歳ぐらいになり、10歳になると人間でいえば76歳ぐらいのおじいちゃん、おばあちゃんになってしまいます。

きみが10歳のときに子犬を飼ったとしたら、20歳になる頃に、犬の体の年齢は何歳ぐらいになっているでしょう。そのときもきみは今と変わらず、その

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

犬を大切にできますか？

家族で夏休みに旅行に行くとき、犬はどうしますか？　③犬は長いあいだ、ひとりで留守番することはできません。

朝晩の散歩や食事の世話をお母さんやお父さんに任せっぱなしにしないで面倒をみる自信がありますか？

年をとれば、犬も人間と同じように病気になることが増えてきます。関節が痛くて歩けなくなったり、＊2白内障になって目が見えにくくなったり、耳も遠くなります。毛づやが悪くなり、口臭や体臭も強くなります。そうなると、汚いとか病院にかかるお金がもったいないなどといって、犬の世話をしなくなる人がいます。もう面倒をみきれないといって「動物愛護センター」や「動物保護センター」に持ち込んだり、山の中に捨ててしまったりする人もいるのです。

きみたちは決して④そんなことをしないでください。

（日野原重明『いのちのギフト』）

＊1免疫抗体＝体に入ってきた病原菌などに抵抗する物質。

＊2白内障＝目がにごって見えにくくなる病気。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　□A・Bにあてはまることばとして最もよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　なぜなら　**イ**　だから
ウ　でも　**エ**　また

A □　B □

問二　――線①「犬の社会に必要なルールを学びます」とありますが、たとえば何を学ぶのですか。文中に挙げられている例を二つ書きぬきなさい。

□　□

問三　1～19行目のまとまりのなかで、キーセンテンスとなる一文をさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問四　――線②「きみは、この子犬が大人になって、死ぬまできちんと面倒をみることができますか？」とありますが、具体的にどんなことを考える必要があるのですか。次の文の□にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

・年をとって、犬が□□になったり、□につやがなくなったり、□□や□□が強くなったりしても大切にできるのかということ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

・家族で［　　　　　］ときイヌをどうするのかということ。

・［　　　　］や［　　　］を自分でできるのかということ。

問五　――線③「犬は長いあいだ、ひとりで留守番することはできません」とありますが、ここで筆者が言いたいこととして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　犬の世話をする人が必要だということ

イ　犬は旅行に連れて行けないということ

ウ　犬と人間はちがうということ

エ　犬を一頭で飼ってはいけないということ

［　　］

問六　――線④「そんなこと」とは、どんなことですか。次の文の〔　　〕にあてはまることばを、それぞれ書きなさい。

〔　　　　〕の〔　　　　〕をしなくなること。

問七　この文章の要旨（ようし）として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　犬は生まれたばかりのときはお母さん犬の免疫抗体をもっているが、大きくなると病気になりやすい。

イ　生まれたばかりの子犬でも、年をとった犬でも、人間と同じところがたくさんある。

ウ　犬は子どものときはかわいいものだが、飼うならば死ぬまで面倒をみる覚悟（かくご）をもたなくてはいけない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

エ　犬はぐんぐん大きくなるので、自分が何歳のときに犬の体が何歳ぐらいになるのかを知っておく必要がある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講 ● 説明的文章⑧

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

年をとった犬はつまらないでしょうか？

「いいえ、そんなことはありません」と、犬を長く飼っている人の多くがそういいます。

老犬には老犬にしかない魅力がたくさんあるそうです。

まず、とても落ち着いています。若い犬のようにだれかれかまわずじゃれついたり、吠えたり、いたずらをすることが少ないのです。世の中は犬の好きな人ばかりではありません。犬に近づかれただけで動けなくなるほど苦手な人もいます。そこへいくと、年齢を重ねた犬は動作もゆっくりしているし、少々のことでうるさく騒ぎ立てたりしません。

年をとった犬は、子犬のときのような好奇心よりもマイペースを好み、一日中寝ていることが多くなります。それでもゆったりと寝ている犬がそこにいる、というだけで安心感を与えてくれます。

学校や仕事場といった外の社会でいろいろなことがあり、なんだか疲れてしまったとき、家族に老犬がいるというだけで、不思議にしみじみと平和な気持ちになるものです。

若い犬なら決してしないような間違いをしてみんなの笑いを誘ったり、若いときにはプライドが高かったのに老いてからとても甘えん坊の犬に変わったという例もあります。犬を長く飼ってきて、年老いた犬がいちばん愛おしいという人も多いのです。

①<u>犬も長生きすると、人間と同じように認知症になる場合があります。</u>

そうなると昼と夜が逆転したり、いくら食べても「ごはんはまだかなあ」と何度も催促に来たりする

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

かもしれません。

②オムツをする犬もいます。排泄（はいせつ）をしていいところといけないところの区別がつかなくなったり、区別はついていても、コントロールする力がなくなっておもらしをしてしまったりするからです。

そんな犬を見たら、きみたちは③汚（きたな）いと思うかもしれません。

でも考えてみてください。きみたちも赤ちゃんのときはオムツをしていましたね。それでもお母さんやお父さんは嫌（いや）な顔ひとつせず、「いいウンチが出たね」とニコニコしながらうれしそうにオムツを取り替（か）えていたのです。

人間だって大人になってから病気やケガ、それからうんと年をとって動けなくなるとオムツをすることがあります。もちろんきみたちだって、いつかそうなるかもしれません。④そんなとき、きみたちは家族やまわりの人たちにどういうふうに接してほしいですか？

⑤悲しいことや苦しいこと、たくさんのストレスに押（お）しつぶされそうになって、もう死にたいと思ってしまったことはありますか？

そんなとき、長く生きてきた老犬の姿（すがた）は「小さなことは気にしないでいいいんだよ」という、生きかたのコツを教えてくれます。

犬は病気になっても、年をとっても、犬同士でけんかしていじめられても、そしていちばん大好きで信頼（しんらい）していた人間に裏切（うらぎ）られても、自分から死のうとすることは決してありません。

動物は、生き延（の）びることしか考えません。

苦しいときには、それを乗り越（こ）えるために強くなり、あるいは苦しみから逃（のが）れる知恵（ちえ）を出し、あるいはじっと耐（た）え忍（しの）ぶことで、老犬になるまで生き抜（ぬ）いてきました。そして満足そうにそこで寝ているのです。

犬は何もいわないけれど、そこにいるだけで、きみたちが⑥生きていくために大切なことを身をもって教えてくれるのです。

（日野原重明（ひのはらしげあき）『いのちのギフト』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この文章を三つに分けるとすると、どこで分けられますか。第二、第三のまとまりの初めの四字をそれぞれ書きぬきなさい。

第二 □□□□

第三 □□□□

問二　――線①「犬も長生きすると、人間と同じように認知症になる場合があります」、②「オムツをする犬もいます」とありますが、これらの例を通して筆者が言いたいこととして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　犬は人間とまったく同じように考えねばならないということ

イ　犬がわずらわしい存在（そんざい）になるかもしれないということ

ウ　犬にもいろんな個性があるということ

エ　犬は人間の思う通りには行動しないということ

□

問三　――線③「汚いと思う」とありますが、これとは反対の心の持ち方が表れている行動を文中から二十五字でさがし、その初めと終わりの四字をそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問四　――線④「そんなとき、きみたちは家族やまわりの人たちにどういうふうに接してほしいですか？」と問いかけていますが、筆者はここでどんなことが言いたいのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　家族やまわりの人たちはきみにも犬にも同じように接するはずだ。

イ　きみたちが犬を家族と同じように考え、あつかうことはできるはずだ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ウ　家族やまわりの人にきみたちの希望をちゃんと伝えておくべきだ。

エ　きみたちが人からこう接してほしいとのぞむ接し方で、きみたちも犬に接してあげるべきだ。

□

問五　――線⑤「悲しいことや苦しいこと、たくさんのストレス」とありますが、犬の場合はどんなことがありますか。文中に挙げられている例を四つにまとめて書きなさい。

□　□

□　□

問六　――線⑥「生きていくために大切なことを身をもって教えてくれる」とありますが、具体的に何を教えてくれるのですか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

苦しくても生き抜くための□□□の□□□□。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　この文章の要旨(ようし)をまとめた次の文の□にあてはまることばを、それぞれ文中から書きぬきなさい。

□は、その場に□だけでいいえいきょうを与えてくれる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そしてある日、そのいのちが消える日が来ます。手のひらに乗るほど小さかった子犬が大人になって、元気に外を走り、いつか年老いて、死んでしまいます。

きみを玄関で出迎えてくれたり、そばにいて話を聞いてくれたりした、楽しいたくさんの思い出があります。犬が死んでから気づくことや、謝りたいこともたくさん思い出すでしょう。

子犬のときはあんなに遊んだのに、犬が年をとってから世話をしなくなっていたこと。きみが犬のことを忘れて遊んでいるときも、犬はきみが帰ってくるのをずっと待っていたのです。きみを恨むことなく、ただ早く帰ってきてとひたすら待っていました。

そんなことが限りなく思い出されて、後悔で涙が止まらないこともあるでしょう。

お別れはとても辛いものです。犬を大切にしてきた人ほど、その悲しみは深いはずです。その悲しみがあまりに深いので、①もう二度と動物は飼わないという人もいます。

でも、きみがいつまでも泣いていると、きみを大好きだった犬はきっと悲しんでいます。

②もう「ごめんね」も「ありがとう」も死んでしまった犬にいうことはできません。でも、③きみにできることがあります。

きみが犬にもらった幸せを、ほかのだれかに分けてあげるのです。それを「ペイフォワード」といいます。

だれかから良いことをしてもらったら、それをその人にお返しすることは「ペイバック」といいます。誕生日のプレゼントをもらったから、その人の誕生日にお返しのプレゼントをする、それがペイバックです。

でも、死んでしまった愛犬に幸せのお返しをする

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ことはもうできません。そこで、その愛犬にもらった幸せをほかの犬や動物に向けるのです。

それが「ペイフォワード」の考えかたです。

たとえば、ひどい目にあっている犬、ひとりぼっちになってしまった保護犬をセンターから引き取って、きみの家に迎えるというのもひとつの方法です。

もう犬や猫（ねこ）が飼えない、というのであれば、保護犬や保護猫、被災（ひさい）した犬や動物たち、盲導犬（もうどうけん）やセラピードッグ*などのために、きみができることはないか考えてみませんか。

どんな方法でもいいですから、ひとつずつやってみてください。

④だれかといっしょに楽しんだり、感動したり、泣いたりする時間を大切にしたいと私（わたし）はいつも思います。心健（こころすこ）やかに人生を楽しむためには、「憎（にく）む」という気持ちをもたないことです。人生には、もっとほかに時間をかけなければならないことがたくさんあります。

大切なのは、穏（おだ）やかな笑顔をつくってあげたいと寄り添（そ）う気持ち、「愛の心をもつ」ということです。犬や動物のいのちに寄り添うことで、きみのいのちは支え合って輝（かがや）くのです。

（日野原重明（ひのはらしげあき）『いのちのギフト』）

*セラピードッグ＝心身がきずついた人や障害（しょうがい）を持つ人とふれ合うことで、心をいやしたり、治療（ちりょう）効果を高めたりすることができるように訓練された犬。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「もう二度と動物は飼わないという人もいます」とありますが、それはなぜだと考えられますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　またすぐに次の動物を飼うのは、長いこといっしょにいた、死んだ動物に対して失礼だから。

イ　自分もずいぶん年をとったので、動物を飼うような体力がないから。

ウ　これまでを思い返してみて、動物を飼って楽しいことはなかったから。

エ　次の動物が死ぬときに、また同じような悲しみを味わうのがいやだから。

問二　――線②「もう『ごめんね』も『ありがとう』も死んでしまった犬にいうことはできません」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　「ごめんね」をいいたいのは、どんなことに対してですか。それが書かれている部分の初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

～

(2)　「ありがとう」をいいたいのは、どんなことに対してですか。文中のことばを使って書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線③「きみにできることがあります」について、次の⑴～⑶に答えなさい。

⑴　「きみにできること」とは、どんなことですか。「～こと」につながる二十一字のことばを文中から書きぬきなさい。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）こと

⑵　⑴のようなことを何といいますか。文中から七字で書きぬきなさい。

（　　　　　　　　　　　　　）

⑶　たとえばどんなことができると文中には書かれていますか。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問四　――線④「だれかといっしょに楽しんだり、感動したり、泣いたりする時間を大切にしたい」のは、どんな気持ちの表れといえますか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

だれかのいのちに（　　　　　　）気持ち

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　この文章で、筆者は犬や動物を飼う意義をどう述べていますか。次の文の［　　］にあてはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきなさい。

心健やかに［　　　　　　］た

めに大切な、［　　　］をもつことができる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講・詩

◆詩の種類

詩は、用語・形式・内容によって分類することができます。

(1) 用語
① 口語詩…現在のことばで書かれた詩。
② 文語詩…昔のことばで書かれた詩。

(2) 形式
① 定型詩…音数、リズムが一定の詩。
② 自由詩…音数、リズムが決まっていない詩。
③ 散文詩…ふつうの文章のように書かれた詩。

(3) 内容
① 叙情詩(じょじょう)…作者の感動を中心に書かれた詩。
② 叙景詩…風景を中心に書かれた詩。
③ 叙事詩…できごとを中心に書かれた詩。

◆詩の表現

(1) 比喩(ひゆ)(たとえ)…別のものにたとえて、イメージを伝える。
① 直喩…「まるで〜のようだ」などのことばを使ってたとえる。
② 隠喩(いんゆ)…「まるで」などのことばを使わずにたとえる。

(2) 擬人法(ぎじん)…人でないものを人にたとえる。

(3) 倒置法(とうち)…ことばの順序を逆(ぎゃく)にして、印象を強める。

(4) 体言止め(名詞止め(めいし))…文末を体言で止めて、余情(よじょう)を残す。

(5) くり返し(反復法)…同じことばをくり返して、印象を強める。

(6) 対句(ついく)…同じリズムで、似た内容や対立する内容のことばをならべて、リズムを整え、印象を強める。

(7) 省略…ことばを省いて余韻(よいん)を残すことで、印象を強める。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

ヒマラヤ桜(ざくら)　小野十三郎(おのとおざぶろう)

おくれて
ただ一本。
さくらが咲(さ)いている
遠い山のなかの
やや寒(さむ)い空気の中に、真白(まっしろ)に。
①それが、ここから
はっきりと
わたしには見えるのだ。

話によれば
印度(インド)のヒマラヤ桜(ざくら)は
なんと海抜(かいばつ)四千米(メートル)のあたりに咲く。
満開(まんかい)の枝(えだ)に
孔雀(くじゃく)がきてとまっていたりするそうだ。

日本はさくらの国だが
②日本のさくらは
少し埃(ほこり)っぽい
*1まん幕(まく)を張(は)ったり
*2ぼんぼりを入れたりして
にぎやかすぎる。

あの
遠い山の
寒い空気の中に
ただ一本
真白に咲いている
さくらのようなもので
ありたい。

*1まん幕＝お花見の場所に飾(かざ)りつけられる紅白(こうはく)の幕。
*2ぼんぼり＝お花見の場所につけられるあかり。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩の分類を次のうちから二つ選び、記号で答えなさい。

ア　文語詩　　**イ**　口語詩

ウ　定型詩　　**エ**　自由詩

問二　――線①「それ」とは何ですか。詩の中から八字で書きぬきなさい。

問三　――線②「日本のさくら」は、ヒマラヤ桜と比(くら)べて、どうだといっていますか。詩の中から七字で書きぬきなさい。

問四　ヒマラヤ桜のどんなところに作者はひかれているのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　寒い空気の中にただ一本真白に咲いているところ

イ　海抜四千米というとても高い場所で孔雀もくるところ

ウ　作者のいる場所からはっきりと見えるところ

エ　日本のさくらほどではないがにぎやかなところ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

少女

少女よ
お母(かあ)さんに話しかけるようにして
私(わたくし)にも話しかけてください
お友だちのことでもいいの
あなたの好きな花の名でもいいの

①お母さんのゆくところ
どこにでもついてまわる
あなたのように
私の娘(むすめ)も

洗濯(せんたく)をする後(うしろ)から抱(だ)きついて
耳こすりをしたり
野菜を刻(きざ)む傍(そば)につききって
豆の皮をむいてくれたり
市場に行く後を追ってきて
小さなノートをねだったりしました

戦火に追われつづけていたときも
信じきったひとみで私を見上げ
温かく　私の手を握(にぎ)りつづけていました

新しい季節が訪(おとず)れるたびに
服のすそをおろし
セーターの袖口(そでぐち)を編(あ)みたして
背(せい)くらべもしました

少女よ
運動会はもうすみましたか
お母さんによりそって何を話しているの
ちょっとふりむいて
②私にもお話を少しわけてくれないかしら

私の娘はおとなになってしまいました

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ビニールの紅葉(もみじ)がひらひらしている商店街を
私は　ひとりで　買いもの
この秋は
③栗(くり)のご飯を炊(た)くのも忘(わす)れてすぎていました

（高田敏子(たかだとしこ)「砂漠(さばく)のロバ」）

問一　――線①「お母さんのゆくところ／どこにでもついてまわる／あなたのように／私の娘も」とありますが、「私の娘」の人なつこさがよく表れた行動を三つに分けて書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線②「私にもお話を少しわけてくれないかしら」が表している、「私」の気持ちを説明したものとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　かっての自分と娘を思い出し、なつかしさとせつなさを感じている。

イ　この年ごろの少女が母親にどんな話をするのか興味（きょうみ）を持っている。

ウ　仲のよい親子を見て、自分だけがのけ者のように感じられ、くやしくなっている。

エ　話しかけても答えてくれない少女にいらだち、素直（すなお）だった自分の娘をなつかしんでいる。

□

問三　――線③「栗のご飯を炊くのも忘れてすぎていました」が表していることとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　家事をひとりでこなすために、とてもいそがしいこと

イ　手作りのごちそうを食べてくれる人がそばにいないこと

ウ　自分で調理しなくても何でも手軽に手に入ること

エ　年をとって、もの忘れがひどくなってきたこと

□

問四　子どもが成長していくことを喜んでいたころのことが書かれているのはどの連ですか。一つ選び、漢数字で答えなさい。

第□連

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　この詩で中心的に描(えが)かれている「私」の気持ちとして最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　戦争で最愛の娘を失った悲しみ
イ　娘がりっぱに成長した喜び
ウ　何も話そうとしない少女へのうらみ
エ　娘がおとなになり、自分のもとを離(はな)れたさびしさ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

奈々子(ななこ)に　　吉野(よしの)　弘(ひろし)

赤い林檎(りんご)の頬(ほお)をして
眠(ねむ)っている　奈々子。

お前のお母さんの頬の赤さは
そっくり
奈々子の頬にいってしまって
①ひところのお母さんの
つややかな頬は少し青ざめた
お父さんにも　ちょっと
酸(す)っぱい思いがふえた。

唐突(とうとつ)だが
奈々子
②お父さんは　お前に
多くを期待しないだろう。

ひとが
ほかからの期待に応えようとして
どんなに
自分を駄目(だめ)にしてしまうか
お父さんは　はっきり
知ってしまったから。

お父さんが
お前にあげたいものは
健康と
自分を愛する心だ。

ひとが
ひとでなくなるのは
自分を愛することをやめるときだ。

自分を愛することをやめるとき
ひとは
他人を愛することをやめ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

世界を見失ってしまう。

自分があるとき
他人があり
世界がある。

お父さんにも
お母さんにも
酸っぱい苦労がふえた。

③苦労は
今は
お前にあげられない。

お前にあげたいものは
香(かお)りのよい健康と
かちとるにむづ(ず)かしく
はぐくむにむづ(ず)かしい
自分を愛する心だ。

問一　この詩は何連から成り立っていますか。漢数字で答えなさい。

連

問二　――線①「ひところのお母さんの／つややかな頰は少し青ざめた」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　お母さんの頰は、もともと何色だったのですか。

(2)　「少し青ざめた」とは、どんなことを表していますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　お母さんの頰が以前にも増してやせ細ったということ

イ　お母さんが一人前のりっぱな大人になったということ

ウ　お母さんがさまざまな苦労を経験(けいけん)してきたということ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

エ　お母さんが酸っぱいものを食べすぎてしまったということ

問三　――線②「お父さんは　お前に／多くを期待しないだろう」とありますが、それはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　奈々子には、お父さんとお母さんの酸っぱい苦労に、自分で気づいてほしいから。

イ　奈々子はまだおさなすぎるので、どんなことを期待したらよいかがわからないから。

ウ　奈々子には、自分のあるべきすがたを見失うことなく、のびのびと育っていってほしいから。

エ　奈々子に期待をかけすぎて、あとでがっかりするのはいやだから。

問四　――線③「苦労は／今は／お前にあげられない」とありますが、作者は、奈々子に、苦労ではなく、何をあげたいと考えていますか。詩の中から二つ書きぬきなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講・短歌・俳句

◇**短歌の重要事項**

① 五・七・五・七・七の音数を基本（きほん）の形式とし、音数がこれより多いものを**字余（じあま）り**、少ないものを**字足らず**といいます。

② 一首（短歌の数え方）の中で意味が大きく切れるところを**句切（くぎ）れ**といいます。

◇**俳句（はいく）の重要事項**

① 五・七・五の音数を基本の形式とし、音数がこれより多いものを**字余り**、少ないものを**字足らず**といいます。

② 俳句には、**季語**（季題）といって、季節を示（しめ）すことばを一つ入れるのが決まりとなっています。

春…桜（さくら）・うぐいす・卒業
夏…あじさい・せみ・プール
秋…柿（かき）・ばった・運動会
冬…大根・ふぐ・スケート

③ 句の中で意味が切れ、感動の中心となるところに、**切れ字**（「や・かな・けり」など）が使われることがあります。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

Ａ　いちはつの花咲(さ)きいでて我(わ)が目には
　　今年ばかりの春ゆかんとす
　　　　　　　　　　　　　　正岡子規(まさおかしき)

Ｂ　白鳥(しらとり)は哀(かな)しからずや空の青
　　海のあを(お)にも染(そ)まずただよふ(う)
　　　　　　　　　　　　　　若山牧水(わかやまぼくすい)

Ｃ　清水(きよみず)へ祇園(ぎおん)をよぎる桜月夜(さくらづきよ)
　　こよひ(い)逢(あ)ふ(う)人みなうつくしき
　　　　　　　　　　　　　　与謝野晶子(よさのあきこ)

問一　Ａの短歌の中心はどんなことにありますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　明日(あす)をもしれぬ病にふせっている悲しみ
イ　日々自然の美しさをめでることができることへの感謝(かんしゃ)
ウ　いつにもまして美しい季節をむかえられた喜び
エ　いろいろなことを見落としてきたことへの怒(いか)り

□

問二　Ｂの短歌に「哀しからずや」とありますが、どんなことを「かなしくはないのだろうか」といっているかを述(の)べた次の（　）にあてはまることばをあとから選び、記号で答えなさい。

白鳥が空の青色にも海の青色にも染まらず（　）ただよっていること

ア　自由に　　**イ**　孤独(こどく)に
ウ　のどかに　**エ**　一心に

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　Ｃの短歌は何句切れの短歌ですか。

問四　Ｃの短歌でよまれている作者の心情（しんじょう）として最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　月の光と古都の優美（ゆうび）な雰囲気（ふんいき）にうっとりとなっている。

イ　不慣（ふな）れな土地にひとりでいるので心細くなっている。

ウ　自分の美しさをほめられていい気分になっている。

エ　好きな人に逢えてうれしさがこみあげてきている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　題目　次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

Ａ　ゆく秋の大和（やまと）の国の薬師寺（やくしじ）の
　　塔（とう）の上なる一ひらの雲
　　　　　　　　　　佐佐木信綱（ささきのぶつな）

Ｂ　たは（わ）むれに母を背負（せお）ひ（い）て
　　そのあまり軽（かろ）きに泣きて
　　三歩あゆまず
　　　　　　　　　　石川啄木（いしかわたくぼく）

Ｃ　向日葵（ひまわり）は金の油を身にあびて
　　ゆらりと高し日のちひ（い）ささよ
　　　　　　　　　　前田夕暮（まえだゆうぐれ）

問一　Ａの短歌に用いられている表現技法（ひょうげんぎほう）を次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　擬人法（ぎじんほう）　**イ**　倒置法（とうちほう）
ウ　反復法（はんぷくほう）　**エ**　体言止め

問二　Ｂの短歌の「三歩あゆまず」とは、三歩も歩けなかったという意味ですが、なぜ三歩も歩けなかったのですか。心情（しんじょう）も含（ふく）めて答えなさい。

問三　Ｃの短歌の「金の油」は何をたとえたものですか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三題目　**次の俳句を読んで、あとの問いに答えなさい。**

A　春風や闘志いだきて丘に立つ　　高浜虚子

B　滝落ちて群青世界とどろけり　　水原秋桜子

C　咳の子のなぞなぞあそびきりもなや　　中村汀女

D　雪とけて村いっぱいの子供かな　　小林一茶

問一　A〜Dの俳句によまれている季節をそれぞれ答えなさい。

A　□　B　□　C　□　D　□

問二　A〜Dのそれぞれの俳句から感じられることとして最もよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　にぎやかさ　　**イ**　雄大さ

ウ　愛情　　**エ**　希望

A　□　B　□　C　□　D　□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四題目　次の俳句（はいく）を読んで、あとの問いに答えなさい。

A　五月雨（さみだれ）や大河（たいが）を前に家二軒（にけん）　　与謝蕪村（よさぶそん）

B　あはれ（わ）子の夜寒（よさむ）の床（とこ）の引けば寄（よ）る　　中村汀女（なかむらていじょ）

C　乳母車（うばぐるま）揺（ゆ）る丶（る）りんごを持ちつづけ　　中村草田男（なかむらくさたお）

D　花散るや耳ふって馬のおとなしき　　村上鬼城（むらかみきじょう）

問一　A～Dの俳句の⑴季語と⑵季節を、それぞれ書きなさい。

	A	B	C	D
⑴				
⑵				

問二　次のそれぞれの説明に合う俳句をA～Dから選び、それぞれ記号で答えなさい。

⑴　子どもに対する母親の愛情（あいじょう）が句の中心にある。

⑵　生命の力強さとみずみずしさが感じられる。

⑶　自然のすさまじさと人工物のこころもとなさが対比（たいひ）されている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4)　のどかな季節の一光景が童画のように描（えが）かれている。

(1) □

(2) □

(3) □

(4) □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講・敬語

◆敬語（けいご）

敬語とは、相手をうやまう気持ちで使うことばです。

敬語には次の三種類があります。

(1) **尊敬語**（そんけいご）＝相手や話の中に出てくる人を直接うやまうことば。

・「お（ご）……になる（なさる）」の形にする。

例　お読みになる
　　ご出席なさる

・尊敬の意味を表す「れる」「られる」をつける。

例　読まれる
　　来られる

・尊敬の意味を表す特別なことばを使う。

例　いらっしゃる
　　おっしゃる
　　くださる

(2) **けんじょう語**＝自分がへりくだることによって相手をうやまうことば。

・「お（ご）……する」の形にする。

例　お話しする
　　ご報告する

・へりくだる意味を表す特別なことばを使う。

例　いただく
　　うかがう
　　申す

(3) **ていねい語**＝ていねいに言うことば。

・「です」「ます」「ございます」をつける。

例　山田です
　　来ます
　　おはようございます

・「お」「ご」をつける。

例　お米　お茶　ごほうび

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆〈注意〉

敬語を正しく使わなければ、かえって失礼になります。特に次のようなまちがいをする人がたくさんいるので、注意が必要です。

(1) **尊敬語を使うべきところでけんじょう語を使う。**

うやまうべき相手のすることを表すのに、けんじょう語を使ってしまうまちがいが多くみられます。

例　×　船長さんが連絡（れんらく）をいたしました。
　　○　船長さんが連絡をなさいました。

(2) **けんじょう語を使うべきところで尊敬語を使う。**

自分や自分の側の人がすることを表すのに、尊敬語を使ってしまうまちがいもあります。

例　×　母さんがお書きになります。
　　○　母がお書きします。

(3) **敬語を重ねる。（二重敬語）**

例　×　お客様がお帰りになられます。
　　○　お客様がお帰りになります。
　　○　お客様が帰られます。
　　※「お……になる」か「れる」のどちらか一方で良いです。

例　×　どういたされますか。
　　○　どうなさいますか。
　　○　どうされますか。
　　※けんじょう語の「いたす」に「れる」をつけても尊敬にはなりません。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1　次の——線のことばはア〜ウのどの言い方にあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。

① 私がそちらにまいります。
② 先生がごらんになる。
③ 春も近いようです。
④ お客様が昼食をめしあがる。
⑤ 社長はもう帰られたようだ。
⑥ 友達のお父さんにごあいさつした。

ア　尊敬語
イ　けんじょう語
ウ　ていねい語

2　次の——線部のことばを、（　　）内の指示にしたがって敬語に直しなさい。

① 園長先生が時計を買う。
（「れる」「られる」を使って尊敬語に）

② 先生の本をかりる。
（「お（ご）……する」の形のけんじょう語に）

③ これから駅に行く。
（「です」「ます」を使ってていねい語に）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の尊敬語とけんじょう語の特別なことばをまとめた表の空欄（くうらん）にあてはまることばをあとから選び、記号で答えなさい。

ふつうの言い方	尊敬語	けんじょう語
いる		おる
する	なさる	
食べる		いただく
言う		申す・申し上げる

ア めしあがる　**イ** まいる
ウ うかがう　**エ** いらっしゃる
オ くださる　**カ** おっしゃる
キ いたす　**ク** ごらんになる
ケ さしあげる

4 次の文のうち、敬語の使い方のまちがっているものを**すべて**選び、記号で答えなさい。

ア これからわたしたちが校内をご案内なさいます。
イ あの時計は王女がくださったものです。
ウ いつうかがえばよろしいですか。
エ 決してごめいわくになるようなことはいたしません。
オ 校長先生がわたしたち二組の展示（てんじ）をはいけんしました。
カ その件は、母にもお伝えしておきます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 次の各文は敬語の使い方がまちがっています。まちがっている部分に――線をつけ、正しく書き直しなさい。

① 先生が食事をいただいています。

② あの方には、私がお話しになっておきます。

③ どうぞ拝見（はいけん）されてください。

④ 国王は明日おいでになられます。

---

6 次の――線部の敬語の種類をあとのア～ウから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① あすの午後、うかがいます。

② 本日は、ありがとうございました。

③ 先生はお出かけになりました。

ア　尊敬語
イ　けんじょう語
ウ　ていねい語

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7 次の――線部は敬語としてまちがっています。正しい表現に直して書きなさい。

① 先生が、ぼくたちの絵を拝見しています。

[　　　　]

② どうぞ、冷めないうちにお食べしてください。

[　　　　]

③ 母がよろしくとおっしゃっていました。

[　　　　]

---

8 次の電話での会話で、まちがった敬語の使い方をしているものが二つあります。その文の番号を□に書き、正しい文に書き直しなさい。

① A「もしもし、伊藤(いとう)と申しますが、お母(かあ)さんはいらっしゃいますか。」

② B「母は、ただ今お出かけになっています。」

③ A「何時ごろ、お帰りになりますか。」

④ B「今日は少しおそくなると申しておりました。」

⑤ A「それでは、明日(あす)十時に会場にうかがいますとお伝えください。」

⑥ B「はい、伊藤さんは十時にうかがうと伝えておきます。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十講・品詞

単語は、八つの自立語と二つの付属語(ふぞくご)の十品詞(ひんし)に分類できますが、似(に)たような単語でもちがう品詞のものがあります。それぞれの品詞の形やはたらきや性質(せいしつ)を理解(りかい)し、区別できるようにしましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の単語のうち、名詞には○を、動詞には△を、どちらでもないものには×をそれぞれつけなさい。

① 起きる（　）
② 花（　）
③ ノート（　）
④ 静けさ（　）
⑤ わらう（　）
⑥ ゆっくり（　）

---

2 次の単語のうち、他と品詞がことなるものを一つずつ選び、記号で答えなさい。（言い切りの形でないことばもあります。）

① ア 暑い　イ 寒い　ウ 暑さ　エ 冷たい
② ア 走る　イ 話す　ウ 近い　エ 聞く
③ ア この　イ 小さな　ウ 君の　エ あの
④ ア つまり　イ たちまち　ウ うっかり　エ もっと
⑤ ア はやく　イ ぼんやり　ウ おそく　エ すばやい

①［　］
②［　］
③［　］
④［　］
⑤［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の――線部の単語の品詞名をあとの**ア**～**キ**から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 今日はとても暑い。

② さあ、いっしょに帰りましょう。

③ いそがしい。だから、わたしは行きません。

④ となり[a]の家には、大きな[b]犬がいる。

a

b

⑤ わたしはいそがしいから行きません。

⑥ 静かな部屋でじっくりと本を読む。

ア 名詞　**イ** 動詞

ウ 形容詞　**エ** 形容動詞

オ 連体詞　**カ** 副詞

キ 接続詞

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

４ 次の①～⑦は、それぞれ同じ品詞の単語を集めたものです。品詞名をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① あの　大きな　たいした

② もっと　じっくり　ひらひら

③ ところが　また　だから

④ 学校　工作　気持ち

⑤ 見る　流れる　歩く

⑥ きれいだ　元気だ　すこやかだ

⑦ 正しい　うれしい　まるい

ア　名詞　　イ　動詞
ウ　形容詞　　エ　形容動詞
オ　副詞　　カ　連体詞
キ　接続詞

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 次のことばのうち、ほかの四つとちがう品詞のものを選び、記号で答えなさい。

①
ア 水泳　**イ** 大むかし　**ウ** 明るい　**エ** 音　**オ** 今夜

②
ア 走る　**イ** 動き　**ウ** 食べる　**エ** 話す　**オ** 思う

③
ア あの　**イ** そんな　**ウ** どの　**エ** これ　**オ** どんな

④
ア きっと　**イ** かりに　**ウ** もし　**エ** たぶん　**オ** きれいだ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講・ことば

●**類義語**（るいぎご）

よく似た意味を持つ語を類義語といいます。

例　欠点―短所
安全―無事

●**対義語**（たいぎご）

意味が反対、または対（つい）になる語を対義語といいます。

例　増加（ぞうか）↔減少（げんしょう）
男性（だんせい）↔女性（じょせい）

1　次の熟語（じゅくご）の類義語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 真実
〔ア　真相　　イ　真価（しんか）　　ウ　真心〕

② 勤勉（きんべん）
〔ア　勤務（きんむ）　　イ　任務（にんむ）　　ウ　熱心〕

③ 未来
〔ア　将来（しょうらい）　　イ　人生　　ウ　進路〕

④ 結果
〔ア　結実　　イ　結末　　ウ　結論（けつろん）〕

① □　② □　③ □　④ □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 次の熟語の対義語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 成功〔ア 過失（かしつ）　イ 失敗　ウ 失念〕
② 延長（えんちょう）〔ア 縮小（しゅくしょう）　イ 短縮　ウ 圧縮（あっしゅく）〕
③ 質疑（しつぎ）〔ア 応答（おうとう）　イ 回答　ウ 理由〕
④ 動物〔ア 生物　イ 魚類　ウ 植物〕

①□　②□　③□　④□

---

3 次の熟語の中から、たがいに類義語になるものを一組ずつ選び、記号で答えなさい。

① ア 自然　イ 当然　ウ 全然　エ 天然
② ア 作用　イ 活用　ウ 利用　エ 着用
③ ア 教養（きょうよう）　イ 栄養　ウ 休養　エ 静養
④ ア 同意　イ 承知（しょうち）　ウ 本意　エ 決意
⑤ ア 出版（しゅっぱん）　イ 刊行（かんこう）　ウ 公表　エ 広告

①□□　②□□　③□□　④□□　⑤□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4 次の熟語の対義語を書きなさい。

① 東洋
② 自然
③ 収入（しゅうにゅう）
④ 敗北
⑤ 部分
⑥ 賛成（さんせい）
⑦ 原因（げんいん）
⑧ 生産

5 次の①～③の類義語、④・⑤の対義語をあとの漢字を組み合わせて答えなさい。

① 心配
② 長所
③ 弱点
④ 欠席
⑤ 圧勝

席　敗　化　完
点　不　安　便
急　出　所　美

①
②
③
④
⑤

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6 次の□に漢字を一字入れ、類義語を作りなさい。

① 欠点＝□所
② 準備（じゅんび）＝□意
③ 永遠（えいえん）＝永□
④ 不平＝不□
⑤ 進歩＝向□

7 次の□に漢字を一字入れ、対義語を作りなさい。

① 安心⇔心□
② 危険（きけん）⇔□全
③ 解散（かいさん）⇔□合
④ 終了（しゅうりょう）⇔□始

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●慣用句（かんようく）

慣用句とは、二つ以上のことばが結びついて、もとのことばの意味とはちがう意味を表すことばです。

①体の一部に関係がある慣用句

例・足が出る＝予算がオーバーして赤字になる。
・手に余（あま）る＝自分の能力（のうりょく）ではできない。
・口が軽い＝おしゃべりである。

②身の回りのものごとに関係がある慣用句など

例・板につく＝いかにもぴったりと似合（にあ）う。
・さじを投げる＝あきらめて見放す。

●ことわざ

ことわざとは、昔から人々の生活を通して言い習わされてきたことばです。教訓的なもの、皮肉・風（ふう）刺（し）的なものなどがあります。

例・急がば回れ＝急ぐときこそ遠回りになっても安全で確実（かくじつ）な方法をとったほうがよい。
・氏（うじ）より育ち＝りっぱな人格（じんかく）を作るのは血すじよりも環境（かんきょう）である。
・ぬれ手であわ＝苦労せずに大もうけをすること。
・豆腐（とうふ）にかすがい＝手ごたえがないこと。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の□にことばを入れて、（　　）の意味をもつ慣用句を作りなさい。

① □を切る
（関係をなくす。）

② □を細める
（うれしそうな顔をする。）

③ □を長くする
（今か今かと心待ちにする。）

④ □□をかぶる
（本当の性質をかくしておとなしくしている。）

2 次のことわざの意味をア〜エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 石の上にも三年

② 石橋をたたいてわたる

③ 飛んで火に入る夏の虫

④ 朱に交われば赤くなる

①□ ②□ ③□ ④□

ア　用心の上にも用心する。
イ　友達によってよくも悪くもなる。
ウ　危険なところに飛びこむ。
エ　なにごとにもしんぼう強くすれば必ずなしとげられる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　次の□に、体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。また、その慣用句の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

①　□を冷やす。

②　□を運ぶ。

③　□が無い。

④　□をはさむ。

⑤　□がたたない。

意味　①□　②□　③□　④□　⑤□

ア　非常（ひじょう）に好きである。
イ　話にわりこむ。
ウ　相手が強すぎてかなわない。
エ　出かけていく。
オ　落ち着き、冷静になる。

4　次のことわざ・故事成語（こじせいご）の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

①　石橋をたたいてわたる

②　転ばぬ先のつえ

③　雨だれ石をうがつ

④　馬の耳に念仏（ねんぶつ）

⑤　のれんにうでおし

⑥　五十歩百歩

①□　②□　③□　④□　⑤□　⑥□

ア　何を言ってもききめがない。
イ　用心のうえにも用心する。
ウ　手ごたえがない。
エ　前もって準備しておく。
オ　努力をつみ重ねれば成功する。
カ　たいしてちがいがない。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5 次のことばの意味に近い語句をあとから選び、それぞれ漢字に直して書きなさい。

①　口をとがらせる　［　　］
②　手が上がる　［　　］
③　鼻が高い　［　　］
④　足が出る　［　　］
⑤　胸（むね）をなでおろす　［　　］

あかじ　とくい　ふまん
あんしん　じょうたつ

---

6 ［　］に入る鳥の名前を答えなさい。

①　［　　］の一声
②　鵜（う）のまねをする［　　］
③　［　　］百までおどりわすれず
④　［　　］に油あげをさらわれる
⑤　能ある［　　］はつめをかくす
⑥　［　　］も鳴かずばうたれまい
⑦　［　　］が豆鉄ぽうを食ったよう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学5年　国語〔応用〕

第一講　文学的文章①

一題目

問一　①　祭り（別解　露店）
②　火薬を詰めて飛ばすロケットのおもちゃ
③　（例）うかれていた

問二　ウ

問三　喜一はお金を持って遊びに行くのが初めてで、うれしかったから。

二題目

問一　①　（例）象が「苦しいです。サンタマリア。」と月にいっていたから。
②　（例）わらも食べなくなり、ふらふら倒れて死をかくごするようになった。

問二　①　（例）意気地のないやつだとあきれた。
②　（例）仲間に手紙を書くための硯と筆、童子を用意してくれた。

問三　①　ぼく（象）
②　オツベル
③　（例）仲間の象（山の象ども）

問四　赤衣の童子

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　文学的文章②

一題目

問一　(1)　(例)小屋の前とうしろに二つずつあけた(しょうじの一こまほどの)あな

(2)　(例)ツルたちをのぞき見するためのもの

問二　(例)はじめてツルたちの動作をのぞき見することができるから。

問三　イ

問四　ウ

二題目

問一　イ

問二　エ

問三　街の明かり

問四　落ちつきがない

問五　飛行機はま

問六　①　街の明かり

②　お父さん

③　(例)さびしさ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　説明的文章①

一題目

問一　㊁
問二　(例)人生のなかでいちばん幸福な日々は少年時代である。
問三　エ
問四　・(例)少年のころは、まったく我をわすれて純粋に何かに没頭できる。
・(例)大人になると、ほかのことが気になりつつ、あることに熱中する。

二題目

問一　A
問二　ゆるい友だち関係
問三　高め合うような友だち関係
問四　4
問五　エ
問六　ゆるやかなつきあい
問七　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　説明的文章②

一題目

問一　友だち・不安
問二　ですから、
問三　ベートーベン・村上春樹　（順不同）
問四　エ
問五　孤独の力
問六　意識がぎゅっと凝縮していきます
問七　四面楚歌・原点・一つの世界

二題目

問一　孤独力
問二　ひとりの時間を楽しむ方法
問三　②　イ
　　　③　エ
問四　自分の世界を閉じた状態
問五　エ
問六　友だち力・距離感・コントロール

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　文学的文章③

一題目

問一　・（例）お金を落としてしまったから。
　　　・（例）信雄とはぐれてしまったから。（順不同）

問二　イ

二題目

問一　風邪

問二　入院しているばあちゃんの洗たく物を取りにきたんだ。

問三　洗たく物

問四　ア

問五　〈とうちゃん〉（例）屋根から落ちて死んだ。
　　　〈かあちゃん〉（例）心の病気で入院している。
　　　〈ばあちゃん〉（例）（足を悪くして）入院している。

問六　ぼくは、～　がない。

問七　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　文学的文章④

一題目

問一　哲
問二　(1)　イ　(2)　ウ　(3)　ア
問三　(1)　イ　(2)　エ
問四　入試・実行委員・家で心配するんじゃないか
問五　エ
問六　(1)　エ　(2)　ア　(3)　オ

二題目

問一　(例)哲にパンをあげることができるのは、今日が最後だから。
問二　ぼくは、なんども深呼吸をした。
問三　(1)　対等　(2)　同情
問四　ウ
問五　哲を友だ　～　でいた。
問六　(例)もらった
問七　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　説明的文章③

一題目

問一　13

問二　ぜんたいとして木の力がそろっている〔こと〕

問三　(1)　雨風にさらされない

(2)　くせがあるかわりに芯が強い

(3)　柱など建物をささえるところ

(4)　化粧板

問四　(例)くせが生きるように組み合わせてつかう。

問五　修理・大きな木・木を知りつくした

問六　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　説明的文章④

一題目

問一　イ・ウ・オ・キ（順不同）

問二　ウ

問三　(例)ヒノキは強く、しなやかな木であること。

問四　漆の木・ジンタ

問五　三百年後か四百年後にやってくる大修理

問六
(1)　〈二つめ〉でも、そのヒノ
　　〈三つめ〉法隆寺の修理の
(2)　〈一つめ〉ア
　　〈二つめ〉イ
　　〈三つめ〉エ

二題目

問一　(1) ①　(2) ②　(3) ①

問二　(1) ア　(2) ウ　(3) イ

問三　(例)ヒノキが四百年育つ土地であること。

問四　(1) 13　(2) 2　(3) 5　(4) 11　(5) 1　(6) 3　(7) 14　(8) 4

問五　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　文学的文章⑤

一題目

問一　イ
問二　ウ
問三　もう名前　～　かくれた
問四　ア
問五　人格・はじ知らず・よだか
問六　神さまから下さったのです。
問七　たか・よだか・つかみ殺してしまう（別解　つかみ殺す）
問八　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　文学的文章⑥

一題目

問一　エ
問二　ウ
問三　③　〈行動〉　もがく・すぐ
〈気持ち〉せなかがぞっとした
④　〈行動〉　ばたばたする・無理に
〈気持ち〉胸がどきっと
問四　イ
問五　ひとりぼっち
問六　エ

二題目

問一　イ
問二　ウ
問三　・にわかに　～　りました
・まるでわ　～　てました
・キシキシ　～　びました
問四　イ
問五　エ
問六　カシオピア座・天の川・しずかに

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十一講　説明的文章⑤

一題目

問一　外部から　～　はたらき
問二　現在では　～　います。
問三　A　イ
　　　B　ア
　　　C　ウ
問四　(例)細胞は時間がたつとともにはたらきがおとろえていくため。
問五　よぶんな物質・不要になったもの・細胞自身・原子
問六　地球が生　～　しょう。
問七　代謝活動・増殖

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　説明的文章⑥

一題目

問一　Ａ　約600万年前
　　　Ｂ　ホモ・ハビルス
　　　Ｃ　約150万年前
問二　木が次々と枝分かれするように（生物の種が増え）
問三　両手・食べ物・道具
問四　エ
問五　脳の発達　～　きたこと
問六　ヒトは生　～　のです。
問七　モリ・包丁
問八　（例）人口が増えたこと。

二題目

問一　火の使用　～　しょう。
問二　20万年・アフリカ・知能・壁画・文化・宗教心・農業
問三　（例）子孫を残すことができない
問四　色・光・鳴き声・におい　（順不同）
問五　イ・オ　（順不同）
問六　・（例）喉の形が変わること。
　　　・（例）脳が大きくなること。　（順不同）
問七　言葉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　文学的文章⑦

一題目

問一　南小四年一組・S市

問二　(1)〈こっち〉　今度の学校
〈前の学校〉　南小

(2)　イ

問三　五年生・勉強の進み方が速い

問四　エ

問五　イ

問六　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　文学的文章⑧

一題目

問一 (1) 仲良しの友だちみんな
(2) ア

問二 ウ

問三 会う・(例)うれしく・お昼ごはん・(例)悲しく

問四 (例)三上くんと遊べないということ。

問五 イ

二題目

問一 ウ

問二 (例)バスが来る時間。

問三 一回表の　～　らった。

問四 (例)南小４年１組の仲間に対する思い。

問五 エ

問六 自然と笑みが浮かんだ

問七 ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十五講　説明的文章⑦

一題目

問一　Ａ　イ
　　　Ｂ　エ

問二　・何が危険なのか
　　　・いたずらはどこまで許されるのか　（順不同）

問三　生まれて　～　のです。

問四　病気・毛・口臭・体臭・旅行に行く・朝晩の散歩・食事の世話

問五　ア

問六　（例）年とった犬・世話

問七　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十六講　説明的文章⑧

一題目

問一　〈第二〉　犬も長生
　　　〈第三〉　悲しいこ
問二　イ
問三　ニコニコ　～　えていた
問四　エ
問五　・(例)病気になること。
　　　・(例)年をとること。
　　　・(例)犬同士でけんかしていじめられること。
　　　・(例)いちばん大好きで信頼していた人間に裏切られること。
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（順不同）
問六　生きかたのコツ
問七　老犬・いる

二題目

問一　エ
問二　(1)　子犬のと　～　ました。
　　　(2)　(例)玄関で出迎えてくれたり、そばにいて話を聞いてくれたりしたこと。
問三　(1)　愛犬にもらった幸せをほかの犬や動物に向ける(こと)
　　　(2)　ペイフォワード
　　　(3)　(例)ひどい目にあっている犬、ひとりぼっちになってしまった保護犬をセンターから引き取って、家に迎えること。
問四　寄り添う
問五　人生を楽しむ・愛の心

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　詩

一題目

問一　イ・エ　（順不同）
問二　印度のヒマラヤ桜
問三　にぎやかすぎる
問四　ア

二題目

問一　・（例）洗濯をする後から抱きついて耳こすりをする。
・（例）野菜を刻む傍につききって豆の皮をむいてくれる。
・（例）市場に行く後を追ってきて小さなノートをねだる。
（順不同）
問二　ア
問三　イ
問四　（第）五（連）
問五　エ

三題目

問一　十（連）
問二　(1)　赤
(2)　ウ
問三　ウ
問四　（香りのよい）健康
自分を愛する心　（順不同）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十八講　短歌・俳句

一題目

問一　ア

問二　イ

問三　三句切れ

問四　ア

二題目

問一　エ

問二　(例)背負った母があまりにも軽かったことで悲しくなったから。

問三　(例)日光(別解　太陽の光)

三題目

問一

A　春

B　夏

C　冬

D　春

問二

A　エ

B　イ

C　ウ

D　ア

四題目

問一

A　(1)　五月雨　(2)　夏

B　(1)　夜寒　(2)　秋

C　(1)　りんご　(2)　秋

D　(1)　花散る　(2)　春

問二

(1)　B

(2)　C

(3)　A

(4)　D

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十九講　敬語

1

① イ
② ア
③ ウ
④ ア
⑤ ア
⑥ イ

2

① 買われる
② おかりする
③ 行きます

3

〈いる〉　エ
〈する〉　キ
〈食べる〉　ア
〈言う〉　カ

4

ア・オ・カ　（順不同）

5

（まちがい）		（書き直し）
① いただいて	→	めしあがって（別解　お食べになって）
② お話しになって	→	お話しして
③ 拝見されて	→	ごらんになって（別解　ごらん）
④ おいでになられます	→	おいでになります

6

（別解　いらっしゃいます・来られます）

① イ
② ウ
③ ア

7

① ごらんになっています（別解　見ていらっしゃいます）
② めしあがってください（別解　お食べになってください）
③ 申しておりました

8

② 母は、ただ今出かけております。
⑥ はい、伊藤さんは十時にいらっしゃると伝えておきます。

第二十講　品詞

1
① △
② ○
③ ○
④ ○
⑤ △
⑥ ×

2
① ウ
② ウ
③ ウ
④ ア
⑤ イ

3
① カ
② イ
③ キ
④ a ア
　 b オ
⑤ ウ
⑥ エ

4
① カ
② オ
③ キ
④ ア
⑤ イ
⑥ エ
⑦ ウ

5
① ウ
② イ
③ エ
④ オ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十一講　ことば

【類義語・対義語】

1
①ア
②ウ
③ア
④イ

2
①イ
②イ
③ア
④ウ

3
①ア・エ
②イ・ウ
③ウ・エ
④ア・イ
⑤ア・イ（それぞれ順不同）

4
①西洋
②人工
③支出
④勝利
⑤全体
⑥反対
⑦結果
⑧消費

5
①不安
②美点
③急所
④出席
⑤完敗

6
①短
②用
③久
④満（別解　服）
⑤上

7
①配
②安
③集
④開

【慣用句・ことわざ】

1
①手
②目
③首
④ねこ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2
①エ
②ア
③ウ
④イ

3
①頭・オ
②足・エ
③目・ア
④口・イ
⑤歯・ウ

4
①イ
②エ
③オ
④ア
⑤ウ
⑥カ

5
①不満
②上達
③得意
④赤字
⑤安心

6
①つる
②からす
③すずめ
④とび（別解　とんび）
⑤たか
⑥きじ
⑦はと

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。